

令和4年度（2022年度）

年 報



近江八幡市立総合医療センター
Omi-hachiman Community Medical Center

基 本 理 念

多くの人々との出会いを通じて、
新しい医療環境の創造に努めます。

基 本 方 針 ・ 5 つ の 追 求

1. 地域の視点に立った信頼される医療を目指します。
【信頼される医療の追求】
2. 安全性が保障された質の高い医療を追究します。
【医療の質の追究】
3. 地域の医療機関や福祉・介護施設との連携を進めます。
【地域医療連携の追求】
4. 活力に溢れ、誇りを生み出す組織風土を醸成します。
【誇りある組織風土の追求】
5. 公営企業として、経営の健全化に努めます。
【健全経営の追求】

目 次

病院基本理念・基本方針

1 はじめに

巻頭言	1
-----------	---

年報発刊にあたって	2
-----------------	---

2 病院の概要

1. 病院の概要	3
----------------	---

2. 各医学会の認定状況	4
--------------------	---

3. 施設基準一覧	5
-----------------	---

4. 沿革	7
-------------	---

5. 組織図	10
--------------	----

6. 職種別職員数	12
-----------------	----

3 業績集

1. 著書・論文	13
----------------	----

2. 学会発表・講演	20
------------------	----

4 各種統計

1. 病院事業決算報告書	39
--------------------	----

2. 病院事業貸借対照表	41
--------------------	----

3. 病院事業損益計算書	43
--------------------	----

4. 病院事業医業収益・費用の詳細	44
-------------------------	----

5. 患者状況	45
---------------	----

6. 事業収入に関する事項	47
---------------------	----

7. 事業費に関する事項	48
--------------------	----

8. その他 各種データ	49
--------------------	----

5 入院病歴統計

入院病歴統計	55
--------------	----

1 はじめに

巻 頭 言

病院事業管理者 宮 下 浩 明

2022年2月24日ロシアがウクライナに侵攻し、今なお戦争が続いています。2023年10月7日に始まったイスラエルとハマスの軍事衝突も終わりが見えません。戦争がもたらすものは、死、恨み、多額の戦費、食糧難、環境破壊などです。勝者になっても、テロ、復讐におびえながら暮らさなければなりません。戦争は、宗教、民族、文化の違いに対する不寛容が原因です。人へのやさしさ、思いやりを子どもに教えている大人が、真逆の事をしています。人はいつまでたっても愚かで弱い生き物なのでしょうか。

年が替わり2024年1月1日、能登半島地震が起きました。多数の死傷者が出ましたが、それ以外にも支援を必要としている方々が沢山いらっしゃいます。一日も早く能登に日常が戻るよう、我々医療人は率先して支援しなければなりません。当院からは直ちにDMATを派遣し、その後、災害拠点病院として被災地からの広域搬送を受けることとなりました。今後も困っておられる人々のため、できる限りのご協力をさせていただきます。

さて、当院の現状をご報告します。2022年度の年報ですので、タイムラグがあることをご了承ください。2022年4月にDPC標準病院群から特定病院群となりました。また感染対策向上加算1を取得し、地域の医療機関の感染症中核病院としての責務を担うこととなりました。6月には一般病床の一部を高度急性期病床のハイケアユニット（HCU）としました。7月には、より安全で精度の高い手術ができる、手術支援ロボット、ダビンチを導入しました。2023年1月には、地域包括ケア病棟を一般急性期病棟とし、院内すべての病床が急性期病床となりました。2月には、突発性難聴、難治性潰瘍を伴う末梢循環障害等の新たな治療として高気圧酸素療法を開始しました。

このように、当院は急性期の機能を強化しつつありますが、地域医療を完遂するためには、近隣の医療・介護・福祉・行政との連携が必須であります。皆様と共に協力し合って地域医療の発展のため、尽力いたしますのでよろしくお願いいたします。

令和6年2月

年報発刊にあたって

院長 白山 武司

当院では、毎年「病院年報」と「診療案内」を作成しています。「診療案内」は地域医療連携を念頭に置き、病院ホームページとともに、各診療科の特徴をお伝えするメディアとしておりますが、「年報」は病院の実績記録として発行しています。

そのため、「年報」は1年間の病院における出来事、学会活動や経営状態、病院機能を把握するための基礎的データを記録しています。外部の方には病院の現状をご覧ください資料として、われわれとしては、1年をふりかえり新たな計画を練る基礎データとして使えるよう配慮しました。

令和4年は、新型コロナウイルス感染症が幅広く蔓延し、ワクチン接種も進みましたが、一方で感染者数も増大し、対応に明け暮れた一年でした。令和3年と比べると、外来患者数は戻ってきましたが、感染症に伴う病床制限の影響から入院患者数が減少、病床稼働率が低下しました。一般の軽症者受診が減少し、重症者や手術が必要な患者さんの割合が増加して、診療単価が増加しています。またコロナ病床の確保に伴い、補助金も支給されました。全国的に同規模の病院では同じような傾向でした。

7月に導入した手術支援ロボットdaVinci Xiによる手術数が増加し、外部からのプロクター招聘件数を終えて独り立ちできる術式が増え、それにつられて手術数全体が増加しています。また家庭にこもって運動が不足しているためか、活動時の外傷、転倒に伴う骨折が増加した印象があります。学会発表もまだまだWEBが主体ながら、継続して活発に行われ、出かける手間がかからないこともあって、発表数は維持されたと思います。

毎年の記録は単調な内容ですが、複数年を比較し、また他病院と比較することで、さまざまな事実に気づくことも多く、活かしていくための知恵を絞ることも求められると思います。この冊子が、よりよい医療活動を行うきっかけになれば幸いです。

今後とも多方面からのご助言をいただき、よりよい病院に向けて職員一同努力したいと思います。よろしく願い申し上げます。

2 病院の概要

病院の概要

医療機関名	近江八幡市立総合医療センター
開設者	近江八幡市長 小西 理（こにし おさむ）
事業管理者	宮下 浩明（みやした ひろあき）
院長	白山 武司（しらやま たけし）
開設年月日	平成18年10月1日
住所	〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町1379番地 TEL 0748-33-3151 FAX 0748-33-4877
診療（標榜）科	総合内科、脳神経内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、呼吸器内科、腎臓内科、代謝・内分泌内科、血液内科、消化器外科、形成外科、救急診療科、病理診断科、リウマチ・膠原病内科
病床数	407床 【内訳】 一般 361床 救命救急病棟 18床（内、集中治療室6床） HCU 15床 NICU 9床 感染症 4床
医療機関指定等	健康保険法指定医療機関、国民健康保険法療養取扱機関、労働者災害補償保険法医療機関、母子保険法養育医療指定医療機関、生活保護法指定医療機関、原子爆弾被爆者一般疾病指定医療機関、児童福祉法育成医療指定医療機関、指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）、指定養育医療機関、原子爆弾被爆者一般疾病指定医療機関、児童福祉法育成医療指定医療機関、身体障害者福祉法指定医療機関、身体障害者福祉法更生医療指定医療機関、結核予防法指定医療機関、第二種感染症指定医療機関、臨床研修指定病院、地域医療支援病院、開放型病院、日本医療機能評価機構認定病院、救命救急センター、災害拠点病院、救急告示病院、地域周産期母子医療センター、助産施設、母体保護法指定医療機関、小児慢性特定疾病医療費助成指定医療機関、滋賀県地域がん診療連携支援病院、滋賀県肝疾患専門医療機関、滋賀県肝がん・重度肝硬変治療研究推進事業、滋賀県肝がん・重度肝硬変治療指定医療機関、難病医療費助成指定医療機関、滋賀県難病診療分野別拠点病院、滋賀県難病医療協力病院（呼吸器）、エイズ治療協力病院、原子力災害医療協力機関、一次脳卒中センター、近畿ブロック小児がん連携病院
看護基準	7対1看護配置
その他	手術室7室（内、バイオクリーン室1室） 分娩設備3（内、LDr型1室） GCU6床 無菌室6床 無菌室対応可能4床 新型コロナウイルス患者専用病床12床（令和3年1月～） ヘリコプター緊急離発着場 医師研修棟併設 【第三者評価】 日本医療機能評価機構病院機能評価認定（一般病院2、3rdG:Ver.2.0） 日本適合性認定協会ISO15189：2012認定

各医学会の認定状況

1	日本内科学会認定内科認定医教育関連施設	29	日本脊椎脊髄病学会 脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
2	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	30	日本脳神経外科学会専門医訓練施設
3	日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設	31	日本脳卒中学会研修教育施設
4	日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設	32	日本神経学会専門医制度准教育施設
5	浅大腿動脈ステントグラフト実施施設	33	日本小児科学会認定医制度研修施設
6	日本ステントグラフト実施基準委員会 腹部ステントグラフト実施施設	34	日本周産期・新生児医学会専門医研修施設
7	日本ステントグラフト実施基準委員会 胸部ステントグラフト実施施設	35	婦人科悪性腫瘍研究機構登録参加施設
8	三学会構成心臓血管外科専門医制度関連施設	36	日本小児外科学会専門医制度教育関連施設
9	下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設	37	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
10	日本消化器病学会専門医制度関連施設	38	日本泌尿器科学会専門医教育施設
11	日本消化器内視鏡学会認定施設	39	日本超音波専門医研修施設
12	日本肝臓学会認定施設	40	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
13	日本血液学会認定医制度研修施設	41	日本眼科学会専門医研修施設
14	日本腎臓学会認定専門医制度研修施設	42	日本麻酔科学会認定麻酔指導病院
15	日本糖尿病学会認定教育施設	43	日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設
16	日本高血圧学会専門医認定施設	44	日本放射線科専門医修練機関認定施設
17	日本透析医学会認定施設	45	日本病理学会病理専門医研修登録施設
18	日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設	46	日本核医学専門医教育病院
19	日本内分泌外科学会内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設	47	日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設
20	日本外科学会認定・専門医制度修練施設	48	日帰り人間ドック実施指定施設
21	日本消化器外科学会専門医修練施設	49	日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
22	日本乳癌学会専門医制度 認定・関連施設	50	日本手外科学会認定手外科専門医制度関連研修施設
23	日本オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設	51	日本産婦人科内視鏡学会認定研修施設
24	日本オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設	52	日本医学放射線学会画像診断管理認証施設
25	日本がん治療認定研修施設	53	NIPTを実施する医療機関（基幹施設）
26	日本整形外科学会専門医制度研修施設		
27	日本リハビリテーション医学会研修施設		
28	日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設		

施設基準一覧

No.	届出内容	No.	届出内容
1	一般病棟入院基本料	55	ニコチン依存症管理料
2	超急性期脳卒中加算	56	開放型病院共同指導料Ⅱ
3	救急医療管理加算	57	がん治療連携計画策定料
4	診療録管理体制加算 1	58	外来排尿自立指導料
5	医師事務作業補助体制加算 1 (1 5 対 1)	59	薬剤管理指導料
6	急性期看護補助体制加算	60	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
7	看護職員夜間配置加算	61	医療機器安全管理料 1
8	療養環境加算	62	在宅血液透析指導管理料
9	重症者等療養環境特別加算	63	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注 2 に掲げる遠隔モニタリング加算
10	無菌治療室管理加算 1	64	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
11	栄養サポートチーム加算	65	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
12	医療安全対策加算 1	66	遺伝学的検査
13	感染対策向上加算 1	67	染色体検査の注 2 に規定する基準
14	患者サポート体制充実加算	68	BRCA 1 / 2 遺伝子検査
15	重症患者初期支援充実加算	69	先天性代謝異常症検査
16	褥瘡ハイリスク患者ケア加算	70	H P V 核酸検出及び H P V 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
17	ハイリスク妊娠管理加算	71	ウィルス・細菌核酸多項目同時検出
18	ハイリスク分娩管理加算	72	検体検査管理加算 (Ⅱ)
19	呼吸ケアチーム加算	73	国際標準検査管理加算
20	後発医薬品使用体制加算 1	74	遺伝カウンセリング加算
21	病棟薬剤業務実施加算 1	75	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査
22	病棟薬剤業務実施加算 2	76	胎児心エコー法
23	データ提出加算 2 のイ	77	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
24	入退院支援加算(加算 1)	78	ヘッドアップディスプレイ試験
25	認知症ケア加算【加算 3】	79	神経学的検査
26	せん妄ハイリスク患者ケア加算	80	補聴器適合検査
27	精神疾患診療体制加算	81	全視野精密網膜電位図
28	排尿自立支援加算	82	ロービジョン検査判断料
29	地域医療体制確保加算	83	コンタクトレンズ検査料 1
30	救命救急入院料 1	84	小児食物アレルギー負荷検査
31	ハイケアユニット入院医療管理料 1	85	画像診断管理加算 2
32	新生児特定集中治療室管理料 2	86	C T 撮影及び MR I 撮影
33	小児入院医療管理料 2	87	冠動脈 C T 撮影加算
34	短期滞在手術等基本料 1	88	外傷全身 C T 加算
35	外来栄養食事指導料の注 2	89	心臓 MR I 撮影加算
36	外来栄養食事指導料の注 3	90	乳房 MR I 撮影加算
37	心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に規定する遠隔モニタリング加算	91	小児鎮静下 MR I 撮影加算
38	糖尿病合併症管理料	92	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
39	がん性疼痛緩和指導管理料	93	外来化学療法加算 1
40	がん患者指導管理料イ	94	無菌製剤処理料
41	がん患者指導管理料ロ	95	心大血管疾患リハビリテーション料 (Ⅰ)
42	がん患者指導管理料ハ	96	脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅰ)
43	がん患者指導管理料ニ	97	運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)
44	糖尿病透析予防指導管理料	98	呼吸器リハビリテーション料 (Ⅰ)
45	乳腺炎重症化予防ケア・指導料	99	がん患者リハビリテーション料
46	婦人科特定疾患治療管理料	100	硬膜外自家血注入
47	腎代替療法指導管理料	101	エタノールの局所注入(甲状腺)
48	一般不妊治療管理料	102	エタノールの局所注入(副甲状腺)
49	二次性骨折予防継続管理料 1	103	人工腎臓
50	二次性骨折予防継続管理料 3	104	導入器加算 2 及び腎代替療法実績加算
51	下肢創傷処置管理料		
52	院内トリアージ実施料		
53	外来腫瘍化学療法診療料 1		
54	連携充実加算		

No.	届出内容	No.	届出内容
105	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算		腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
106	下肢末梢動脈疾患指導管理加算	140	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
107	組織拡張期による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	141	腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
108	椎間板内酵素注入療法	142	膀胱水圧拡張術
109	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	143	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
110	緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	144	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
111	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	145	人工尿道括約筋植込・置換術
112	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	146	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
113	乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)	147	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
114	乳がんセンチネルリンパ節加算 2	148	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
115	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	149	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
116	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	150	腹腔鏡下子宮癒痕部修復術
117	経皮的中隔心筋焼灼術	151	体外式膜型人工肺管理料
118	ペースメーカー移植術、ペースメーカー交換術	152	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術(胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む))
119	ペースメーカー移植術、ペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	153	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る)
120	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	154	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
121	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	155	輸血管理料 I
122	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	156	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
123	植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	157	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
124	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	158	麻酔管理料 I
125	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	159	麻酔管理料 II
126	大動脈バルーンパンピング法(I A B P 法)	160	保険医療機関間の連携による病理診断
127	経皮的下肢動脈形成術	161	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
128	内視鏡的逆流防止粘膜切除術	162	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速病理細胞診
129	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	163	病理診断管理加算 1
130	腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	164	悪性腫瘍病理組織標本加算
131	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	165	看護職員処遇改善評価料 5 8
132	バルーン塞栓下逆光性経静脈的塞栓術		
133	腹腔鏡下肝切除術		
134	体外衝撃波腓骨石破碎術		
135	腹腔鏡下腓骨腫瘍摘出術		
136	腹腔鏡下腓骨体尾部腫瘍切除術		
137	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術		
138	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)		
139	内視鏡的小腸ポリープ切除術		

沿 革

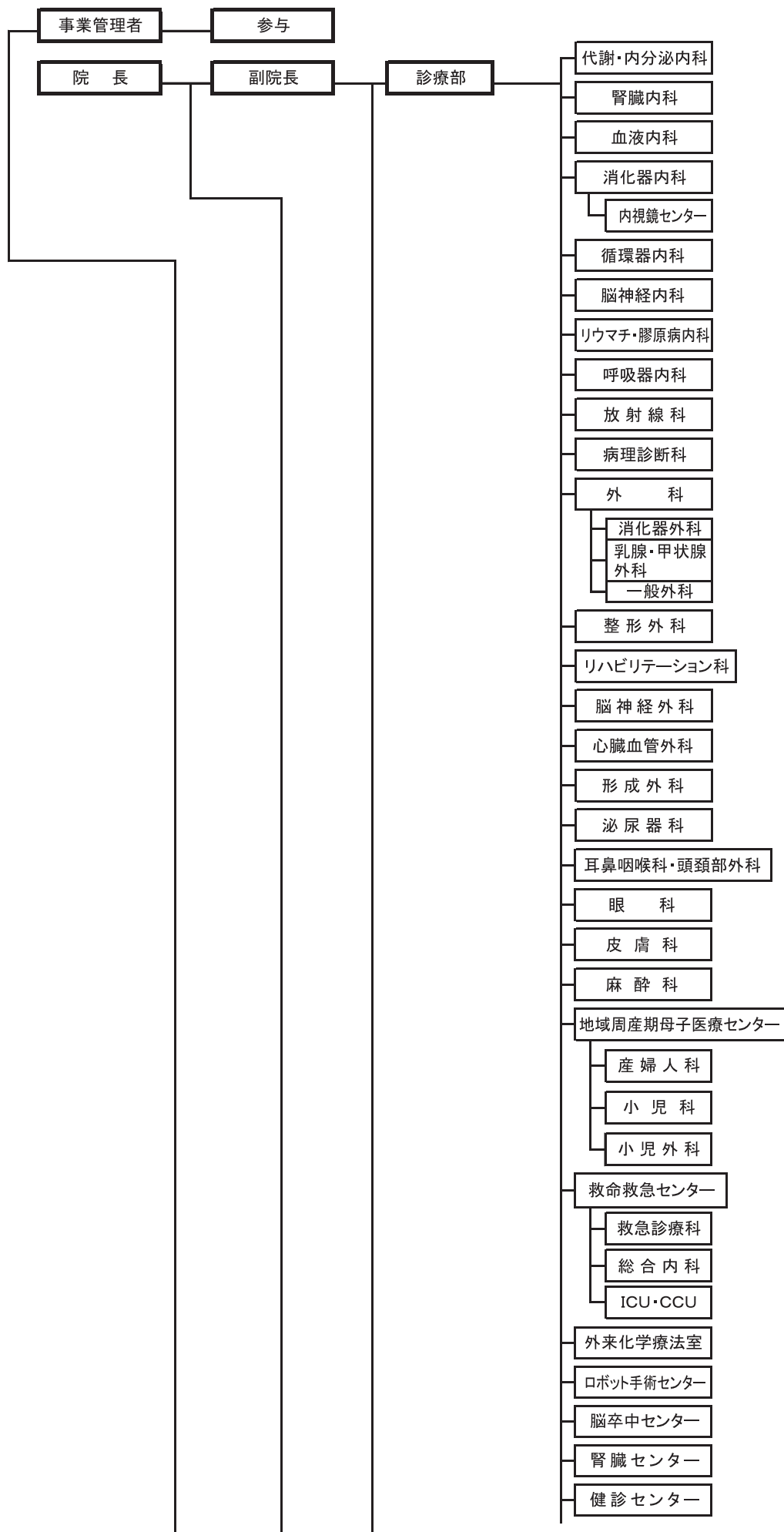
年月日	内 容
昭和15年 9月 8日	保証責任共生医療購買利用組合連合会八幡病院を設立 (木造2階建、診療科目7科、一般病床70床)
昭和16年11月15日	開院式
昭和39年 6月15日	近江八幡市出町395番地に新築移転 (鉄筋コンクリート造4階建、診療科目9科 一般病床100床、結核病床20床の計120床)
昭和40年 5月 1日	新病舎開設
昭和40年 7月31日	総合病院
昭和40年 8月16日	救急告示病院
昭和41年 4月 1日	近江八幡市立八幡病院(近江八幡市に経営移管)
昭和45年 2月16日	一般病床を120床に増床、結核病床20床を廃止
昭和45年 3月11日	一般病床を160床に増床
昭和48年 4月 1日	近江八幡市民病院(名称変更)
昭和48年12月14日	第一次増築整備事業竣工 (鉄筋コンクリート造5階建、一般病床286床)
昭和49年 3月 1日	血液透析開始
昭和54年 5月31日	脳神経外科を設置
昭和55年 3月18日	神経内科を設置
昭和55年 4月23日	第二次増築整備事業竣工 (鉄筋コンクリート造5階建、一般病床368床、 診療部内拡充、人工透析室整備)
昭和59年 5月28日	一般病床403床
昭和60年 3月27日	第三次増築整備事業竣工 (鉄筋コンクリート造5階建、一般病床403床、 救急室、手術室、透析室移転拡充)
昭和61年 7月 1日	医療事務電算化
昭和63年 1月29日	MR棟竣工
昭和63年 2月29日	第1回B病棟(第1期旧館分)改修工事完了
昭和63年 9月 1日	3基準(基準看護・給食・寝具設備)変更申請承認、特2類
平成元年 3月31日	第2回B病棟(第1次増築分)改修工事完了
平成元年 5月16日	自治体立優良病院自治大臣賞受賞
平成 3年 3月15日	職員宿舎「美郷寮」竣工
平成 4年12月 1日	滋賀県腎移植推進・情報センターを設置
平成 5年12月 1日	基準看護変更申請承認(特2類264床、特3類139床)
平成 6年 2月 1日	夜間看護加算申請承認 平成6年4月1日改正 夜間勤務等看護(Ⅱ)
平成 6年10月28日	新看護基準届出受理 (2.5対1看護料、看護A加算、13対1看護補助料)
平成 8年 4月 1日	健診センター開設
平成11年 4月 1日	新看護基準変更届出受理(感染症病床4床承認)
平成12年 4月 1日	一般病棟入院基本料届出受理 (Ⅰ群入院基本料2、10対1看護補助加算)
平成13年 3月	P F Iによる新病院建設決定
平成13年 9月14日	地域医療連携室及び国際カンファレンスルーム設置
平成14年 4月 1日	薬剤院外処方開始
平成15年 4月 1日	救急診療科設置
	医療安全管理室設置
平成15年 9月 1日	女性専用外来開設
平成15年10月	全国自治体病院協議会総務大臣表彰
	臨床研修指定病院
平成16年 4月 1日	地方公営企業法の全部適用(管理者設置)
平成16年 6月 1日	米国グランドラピッズ市スペクトラムヘルス病院への職員派遣 (看護師・薬剤師)

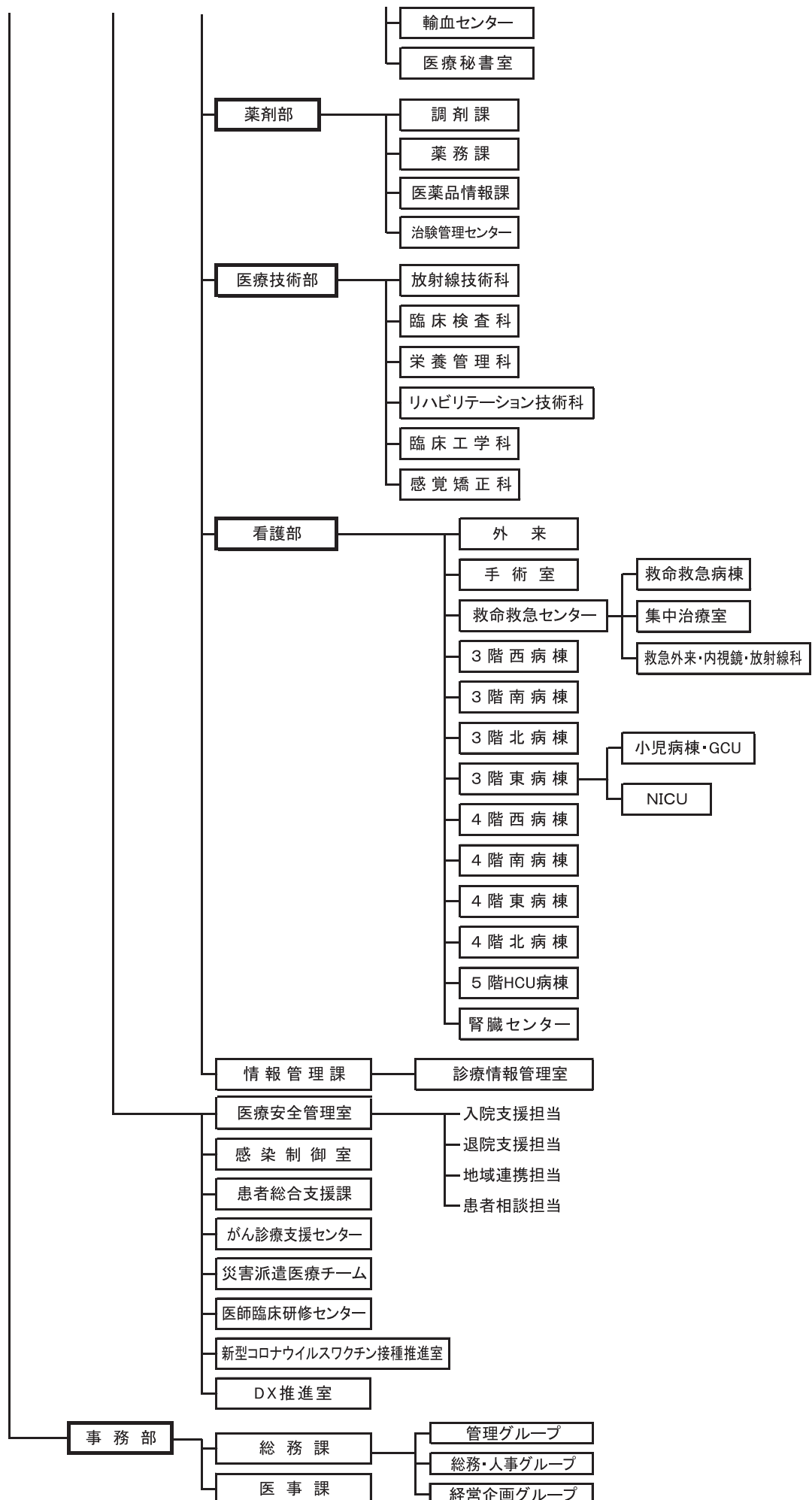
年月日	内 容
平成16年10月	新病院建設着工
平成17年 3月	災害派遣医療チーム（DMAT）発足
平成17年 4月 1日	小児外科開設
	県地域周産期母子医療センター認定
平成17年10月 1日	事業管理者と院長の分離
平成18年 4月 1日	一般病棟10対1入院基本料取得
平成18年 4月26日	新病院竣工式（P F I 近江八幡㈱主催）
平成18年 9月 3日	県総合防災訓練実施（会場：新病院）
平成18年 9月16日	新病院開院式及び市民見学会
平成18年 9月28日	新病院移転開始
平成18年10月 1日	名称を「近江八幡市立総合医療センター」に改称し新病院開院 （鉄筋コンクリート造5階建・免震構造・延床面積33,873㎡）
	完全院外処方実施
	事業管理課設置（P F I モニタリング）
	救命救急センター設置
	回復期リハビリテーション病棟設置
平成19年 4月 1日	院内保育所365日開所、週3回24時間保育実施
平成19年 6月 1日	医療技術部に輸血管理科を設置
平成19年12月	医療センターあり方委員会の設置
平成20年 1月21日	医療センターあり方委員会から提言を受ける
平成20年12月24日	P F I 契約の解除合意
平成21年 4月 1日	P F I 契約解除により市直接運営に変更
平成21年 6月 1日	地域医療支援病院取得
平成22年10月 1日	がん診療連携支援病院指定
平成23年 4月 1日	小児入院医療管理料2取得
	急性期看護補助体制加算1取得
平成23年11月15日	磁気共鳴断層撮影装置（MR I）設置
平成24年12月17日	病院機能評価Ver. 6.0 取得（更新）
平成25年 3月22日	東近江医療圏地域医療再生計画に基づき高規格救急車配置
平成25年 7月 1日	回復期リハビリテーション病棟（50床）を一般病床へ転換
	心臓血管外科常勤医2名体制（心臓・大血管手術本格稼働）
平成25年10月 1日	総合医療センターロゴマーク公募・選定
平成25年12月27日	研修棟竣工 （鉄骨造2階建・延床面積645㎡）
平成26年 1月13日	総合医療情報システム更新（電子カルテシステム他）
平成26年 3月31日	災害派遣医療チーム派遣体制整備事業によるDMAT通信自動車配置
平成26年 7月31日	東側駐車場 整備
平成27年 3月 1日	第3血管カテーテル室 増設
平成27年 4月28日	京滋ドクターヘリ 運航開始
平成27年 7月 1日	一般病棟7対1入院基本料 取得
平成28年 1月29日	320列全身用X線CT撮影装置 設置
平成28年 4月 1日	玄関前駐車場（ハートフル駐車場）整備
平成28年 7月 1日	外来化学療法室の整備・拡張
平成28年10月 1日	地域包括ケア病棟入院料1 取得（一般病床48床からの転換）
平成28年10月 8日	開院10周年記念式典
平成29年 3月 6日	入退院支援室 設置
平成29年 5月29日	検体検査管理加算（Ⅳ）取得
平成29年 8月31日	緩和ケア外来 診療開始
平成29年12月17日	病院機能評価 3rdG:Ver1.1 認定（更新）
平成30年 4月 1日	治験センター開設
平成30年 7月22日	脳死下臓器提供（1例目）（6歳未満児）
平成30年10月 1日	がん診療連携部開設
令和元年 9月 1日	脳卒中センター開設
令和元年12月28日	3.0テスラMRI装置 設置
令和 2年 1月22日	GCU完成（NICU9床、GCU6床）
令和 2年 3月15日	新型コロナウイルス感染症陽性患者受入れ
令和 2年 4月 2日	脳死下臓器提供（2例目）（6歳未満児）

年月日	内 容
令和 2年10月 1日	医療機関ネットワーク事業参画（消費者庁）
令和 3年 1月 4日	コロナ専用病床の運用開始（12床）
令和 3年 1月10日	総合医療情報システム更新（電子カルテシステム他）
令和 3年 1月22日	新型コロナウイルスワクチン接種推進室設置
令和 3年 5月28日	臨床検査科ISO15189認定
令和 4年 2月27日	脳死下臓器提供（3例目）
令和 4年 4月 1日	DPC特定病院群指定
令和 4年 6月 1日	5階一般病床（15床）をハイケアユニットへ転換
令和 4年 7月 1日	手術支援ロボット（ダビンチXi）設置
令和 4年12月17日	病院機能評価 3rdG:Ver2.0 認定（更新）
令和 5年 1月 1日	地域包括ケア病棟（48床）を一般病床へ転換
令和 5年 2月14日	学校法人聖泉学園聖泉大学連携協定締結
令和 5年 2月21日	高気圧酸素療法開始

近江八幡市立総合医療センター組織図

令和5年3月31日





職種別職員数 年度別推移

(単位：人)

職 種	H28. 4	H29. 4	H30. 4	H31. 4	R2. 4	R3. 4	R4. 4
企業医療職（１）給料表職員	68	66	69	68	65	65	66
医 師	68(43)	66(49)	69(47)	68(43)	65(49)	65(57)	66(53)
企業医療職（２）給料表職員	101	107	110	106	104	101	104
放射線技師	16	16	16	16	16	16(1)	15(1)
臨床検査技師	20(7)	20(7)	21(8)	19(7)	19(8)	18(9)	19(10)
薬剤師	22	23	24	24	22(1)	20(2)	22(2)
C R C			0(1)	0(2)	0(2)	0(2)	1(1)
理学療法士	12(4)	14(7)	15(6)	14(5)	14(5)	13(6)	13(6)
作業療法士	4	5	5	5(1)	5(1)	6	6
言語聴覚士	4	4	4	4	4	4	4
臨床工学技士	14	15	15	15	15	15(1)	15(2)
視能訓練士	4	4	4	3	3	3	3
管理栄養士	5(4)	6(6)	6(6)	6(6)	6(6)	6(5)	6(6)
企業医療職（３）給料表職員	407	403	415	418	416	412	412
看護師	403(47)	399(41)	411(39)	415(53)	415(53)	411(46)	411(45)
准看護師	4(6)	4(6)	4(2)	3(1)	1(1)	1(1)	1(1)
企業行政職（１）給料表職員	24	31	32	31	32	31	32
事務員	24(65)	31(67)	32(67)	31(64)	32(73)	31(76)	32(80)
企業行政職（２）給料表職員	3	2	2	1	1	1	1
労務員	2	1	1	1	1	1	1
看護助手	1(36)	1(32)	1(34)	0(32)	0(29)	0(28)	0(27)
診療助手	0(15)	0(14)	0(14)	0(14)	0(14)	0(14)	0(13)
合 計	603	609	628	624	618	610	615
総 合 計	830	838	852	852	860	858	862

*（ ）内は、再任用職員、常勤嘱託および臨時職員数（R2～再任用職員および会計年度任用職員数）

3 業績集

1. 著書・論文

代謝・内分泌内科

1) Metabolic changes induced by dapagliflozin, an SGLT2 inhibitor, in Japanese patients with type 2 diabetes treated by oral anti-diabetic agents: A randomized, clinical trial

Horibe K, Morino K, Miyazawa I, Tanaka-Mizuno S, Kondo K, Sato D, Ohashi N, Ida S, Yanagimachi T, Yoshimura M, Itoh R, Murata K, Miura K, Arima H, Fujita Y, Ugi S, Maegawa H; SUMS-ADDIT-2 Research group.

雑誌名 Diabetes Research and Clinical

Practice

巻号 Epub ahead of print

年月 2022

2) Characteristics of childhood onset and post-puberty onset obesity and weight regain after laparoscopic sleeve gastrectomy in Japanese subjects: A subgroup analysis of J-SMART

Watanabe Y, Yamaguchi T, Tanaka S, Sasaki A, Naitoh T, Matsubara H, Yokote K, Okazumi S, Ugi S, Yamamoto H, Ohta M, Ishigaki Y, Kasama K, Seki Y, Tsujino M, Shirai K, Miyazaki Y, Masaki T, Nagayama D, Saiki A, Tatsuno I

雑誌名 Obesity Facts

巻号 Vol.15 No.4 頁 p.498 - 507

年月 2022

3) Coexistence of pheochromocytoma and primary aldosteronism due to multiple aldosterone-producing micronodules in the ipsilateral adrenal gland

Ugi S, Yonishi M, Sato D, Nakaizumi N,

Horikawa O, Fujita Y, Inoue K, Wada A, Kageyama S, Kawauchi A, Hino M, Noujima M, Yamazaki Y, Sasano H, Maegawa H

雑誌名 Internal Medicine

巻号 Online ahead of print

年月 2023.2

4) Factors associated with relapse of type 2 diabetes mellitus after laparoscopic sleeve gastrectomy in Japanese subjects: A subgroup analysis of J-SMART study

Watanabe Y, Yamaguchi T, Nagayama D, Tanaka S, Sasaki A, Naitoh T, Matsubara H, Yokote K, Okazumi S, Ugi S, Yamamoto H, Ohta M, Ishigaki Y, Kasama K, Seki Y, Tsujino M, Shirai K, Miyazaki Y, Masaki T, Saiki A, Tatsuno I

雑誌名 Obesity Facts

巻号 Vol.16 No.2 頁 p.119 - 130

年月 2023.3

脳神経内科

1) An autopsy case of MV2K-type sporadic creutzfeldt-jakob disease presenting with characteristic clinical, radiological, and neuropathological findings

Koushun Matsuo, Daiki Goto, Masato Hasegawa, Kenji Ogita, Takeo Koyama, Akio Akagi, Tetsuyuki Kitamoto, Mari Yoshida and Yasushi Iwasaki

雑誌名 Neuropathology

巻号 Online ahead of print

年月 2022.4

腎臓内科

1) 長期型バスキュラーカテーテルが抜去困難と

なった超高齢血液透析患者の1例

三原 悠、門 浩志、黒瀬 亮、辻中瑛里香、
中村匡志、足立大也、山内明日香、深井邦剛、
八田 告

雑誌名 日本透析医学会雑誌

巻号 Vol.55 No.4 頁 p.265-269

年月 2022.4

2) Hemodialysis patient with streptococcal
toxic shock syndrome and penile necrosis

Nakai K, Mihara Y, Hosokawa Y, Hatta T

雑誌名 Internal Medicine

巻号 Epub ahead of print

年月 2022.5

3) 滋賀県の慢性透析療法の現況

(2020年12月31日現在)

金崎雅美、久米真司、辻田靖之、大澤紀之、
森田善方、岩城秀出洙、秋岡清一、門 浩志、
前田咲弥子、新井 豊、西尾利樹、有村徹朗、
磯野元秀、西村正孝、一色啓二、曾我弘樹、
谷口正展、滋賀腎・透析研究会

雑誌名 滋賀医学

巻号 Vol.45 頁 p.21 - 27

年月 2023.3

消化器内科

1) Effective endoscopic ultrasound-guided
transrectal drainage of a perianal abscess

Koichi Soga, Atsushi Majima

雑誌名 Arquivos de gastroenterologia

巻号 Vol.59 No.2 頁 p.317 - 318

年月 2022.4

2) Rupture of a pseudoaneurysm after
uncovered self-expanding biliary metallic stent
placement

Koichi Soga, Mika Mazaki, Taku Kano

雑誌名 Digestive Endoscopy

巻号 Vol.34 No.4 頁 p.75 - 76

年月 2022.5

3) Management of shiitake mushroom-induced
ileus using balloon enteroscopy

Koichi Soga, Hiroki Mukai, Hiroaki Kitae

雑誌名 Digestive Endoscopy

巻号 Vol.34 No.4 頁 p.58 - 59

年月 2022.5

4) Confirmation of a rubber band as the stone
nuclei within common bile duct stones using
cholangioscopy

Koichi Soga, Atsushi Majima, Hiroaki Kitae

雑誌名 Digestive Endoscopy

巻号 Vol.34 No.5 頁 p.122 - 123

年月 2022.7

5) Management of afferent loop obstruction
using multiple single-pigtail plastic stents in a
patient with recurrent metastatic pancreatic
cancer

Koichi Soga, Hiroaki Mukai, Hiroaki Kitae

雑誌名 Endoscopy

巻号 Vol.54 頁 p.58 - 59

年月 2022.12

6) A case of an incidentally identified
esophageal perforation due to food impaction
during a screening examination

Koichi Soga

雑誌名 J Gastrointestin and Liver Diseases

巻号 Vol.31 No.4 頁 p.379

年月 2022.12

7) Esophageal rupture due to unexpected
Sengstaken-blakemore tube placement

Koichi Soga

雑誌名 Chonnam Medical Journal

Case Reports

巻号 Vol.59 No.1 頁 p.102

年月 2023.1

8) Effectiveness of intra-scope channel plastic stent release in endoscopic ultrasound-guided pelvic abscess drainage

Koichi Soga

雑誌名 Arquivos de gastroenterol

巻号 Vol.60 No.1 頁 p.155 - 157

年月 2023.1

9) Troubleshooting the migration of a double-pigtail plastic stent into a pelvic abscess (with videos)

Koichi Soga, Hiroaki Kitae

雑誌名 Endoscopic Ultrasound

巻号 Vol.12 No.2 頁 p.303 - 304

年月 2023.3

10) Effective endoscopic band ligation for diverticular perforation with a refractory pelvic abscess

Koichi Soga, Atsushi Majima

雑誌名 Clinical Endoscopy

巻号 Vol.56 No.2 頁 p.252 - 255

年月 2023.3

11) Solitary rectal ulcer syndrome caused by electric bidet toilet misuse

Koichi Soga

雑誌名 J Gastrointestin and Liver Diseases

巻号 Vol.32 No.1 頁 p.14

年月 2023.3

循環器内科

1) Extracorporeal cardiopulmonary resuscitation in adult patients with

out-of-hospital cardiac arrest: a retrospective large cohort multicenter study in Japan

Akihiko Inoue, et al. (Takuo Nakagami)

雑誌名 Critical Care

巻号 Vol.26 No.1 頁 p.1-11

年月 2022.5

2) Characteristics, antithrombotic patterns, and prognostic outcomes in claudication and critical limb-threatening ischemia undergoing endovascular therapy

Kawarada O, et al. (Takuo Nakagami)

雑誌名 Journal of Endovascular Therapy

巻号 Online ahead of print

年月 2022.11

血液内科

1) Watchful waiting is an acceptable treatment option for asymptomatic primary ocular adnexal mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma: A retrospective study

Kentaro Mizuhara, Tsutomu Kobayashi, Mitsushige Nakao, Ryoichi Takahashi, Hiroto Kaneko, Kazuho Shimura, Koichi Hirakawa, Nobuhiko Uoshima, Katsuya Wada, Eri Kawata, Reiko Isa, Takahiro Fujino, Taku Tsukamoto, Shinsuke Mizutani, Yuji Shimura, Akiko Yoneda, Akihide Watanabe, Chie Sotozono, Junya Kuroda

雑誌名 Cancer Medicine

巻号 Epub

年月 2022.5

2) Clinical implication of the effect of the production of neutralizing antibodies against SARS-Cov-2 for chronic immune thrombocytopenia flare-up associated with COVID-19 infection : A case report and the

review of literature

Chika Maekura, Ayako Muramatsu, Hiroaki Nagata, Haruya Okamoto, Akio Onishi, Daishi Kato, Reiko Isa, Takahiro Fujino, Taku Tsukamoto, Shinsuke Mizutani, Yuji Shimura, Tsutomu Kobayashi, Keita Okumura, Tohru Inaba, Yoko Nukui, Junya Kuroda

雑誌名 Infection and Drug Resistance Case Reports

巻号 Vol.15 頁 p.2723 - 2728

年月 2022.5

3) Clinical impacts of frailty, poor performance status, and advanced age in carfilzomib-containing treatment for relapsed/refractory multiple myeloma: post hoc investigation of the KOTOSG multicenter pilot prospective observational study

Yuka Kawaji-Kanayama, Ayako Muramatsu, Nana Sasaki, Kazuho Shimura, Miki Kiyota, Shinichi Fuchida, Reiko Isa, Takahiro Fujino, Yayoi Matsumura-Kimoto, Taku Tsukamoto, Yoshiaki Chinen, Shinsuke Mizutani, Mitsushige Nakao, Hiroto Kaneko, Eri Kawata, Koichi Hirakawa, Ryoichi Takahashi, Chihiro Shimazaki, Hitoji Uchiyama, Nobuhiko Uoshima, Yuji Shimura, Tsutomu Kobayashi, Masafumi Taniwaki, Junya Kuroda

雑誌名 International Journal of Hematology

巻号 Vol.115 No.3 頁 p.350 - 362

年月 2022.5

4) Patients with B-cell lymphoma receiving anti-CD20 monoclonal antibody-containing chemotherapies and seroreactive patterns in response to COVID-19 vaccination

Tohru Inaba, Keita Okumura, Chika Maekura, Ayako Muramatsu, Tsutomu Kobayashi, Junya Kuroda, Yoko Nukui

雑誌名 International Journal of Hematology

巻号 Vol.115 No.6 頁 p.913 - 914

年月 2022.6

5) Pretreatment serum level of interleukin-6 predicts carfilzomib-induced hypertension in relapsed/refractory multiple myeloma

Ayako Muramatsu, Tsutomu Kobayashi, Yuka Kawaji-Kanayama, Hitoji Uchiyama, Nana Sasaki, Nobuhiko Uoshima, Mitsushige Nakao, Ryoichi Takahashi, Kazuho Shimura, Hiroto Kaneko, Miki Kiyota, Katsuya Wada, Yoshiaki Chinen, Koichi Hirakawa, Shin-Ichi Fuchida, Chihiro Shimazaki, Shinsuke Mizutani, Taku Tsukamoto, Yuji Shimura, Masafumi Taniwaki, Satoshi Teramukai, Junya Kuroda

雑誌名 Leuk Lymphoma

巻号 Vol.63 No.7 頁 p.1678 - 1685

年月 2022.7

6) 日本人骨髄異形成症候群患者におけるアザシチジン注射用 100mg「オーハラ」/「NK」の生物学的同等性試験

山口正木、飯野昌樹、伊藤俊朗、安藤寿彦、藤田浩之、河合泰一、古川達雄、原崎頼子、金井良高、前田裕弘、藤崎智明、玉井洋太郎、萩原政夫、住昌彦、高橋良一、名和由一郎、木村晋也、香川由佳、河城孝史

雑誌名 新薬と臨床

巻号 Vol.71 No.7 頁 p.724 - 738

年月 2022.7

7) Monocyte or white blood cell counts and β_2 microglobulin predict the durable efficacy of daratumumab with lenalidomide

Yutaka Shimazu, Junya Kanda, Hitomi Kaneko, Kazunori Imada, Ryosuke Yamamura, Satoru Kosugi, Yuji Shimura, Tomoki Ito, Shin-Ichi Fuchida, Hitoji Uchiyama, Kentaro Fukushima, Satoshi Yoshihara, Hitoshi Hanamoto, Hirokazu Tanaka, Nobuhiko

Uoshima, Kensuke Ohta, Hideo Yagi, Hirohiko Shibayama, Yoshiyuki Onda, Yasuhiro Tanaka, Yoko Adachi, Mitsuhiro Matsuda, Masato Iida, Takashi Miyoshi, Toshimitsu Matsui, Ryoichi Takahashi, Teruhito Takakuwa, Masayuki Hino, Naoki Hosen, Shosaku Nomura, Chihiro Shimazaki, Itaru Matsumura, Akifumi Takaori-Kondo, Junya Kuroda

雑誌名 Therapeutic Advances in Hematology

巻号 eCollection 2022

年月 2022.12

8) Impact of treatment with anti-CD20 monoclonal antibody on the production of neutralizing antibody against anti-SARS-CoV-2 vaccination in mature B-cell neoplasms

Akio Onishi, Yayoi Matsumura-Kimoto, Shinsuke Mizutani, Taku Tsukamoto, Takahiro Fujino, Akihiro Miyashita, Daichi Nishiyama, Kazuho Shimura, Hiroto Kaneko, Eri Kawata, Ryoichi Takahashi, Tsutomu Kobayashi, Hitoji Ushiyama, Nobuhiko Uoshima, Yoko Nukui, Yuji Shimura, Tohru Inaba, Junya Kuroda

雑誌名 Infection Drug Resistance

巻号 eCollection 2023

年月 2023.1

心 臓 血 管 外 科

1) 大動脈弁狭窄症に対して外科的大動脈弁置換術を契機に診断したアルカプトン尿症の1例

森 陽太郎、高島範之、三輪駿太、松林優児、南舘直志、榎本匡秀、神谷賢一、鈴木友彰

雑誌名 日本心臓血管外科学会雑誌

巻号 Vol.51 No.6 頁 p.350 - 353

年月 2022.11

病 理 診 断 科

1) A clinicopathologic and molecular analysis of five cases of bronchiolar adenoma with rare mutations

Takeda-Miyata N, Miyagawa-Hayashino A, Hamada S, Nagamine M, Fujii T, Imura T, Tsunozuka H, Shimomura M, Yamaguchi T, Yanada M, Inoue M, Konishi E.

雑誌名 Pathology International

巻号 Vol.72 No.5 頁 p.273 - 282

年月 2022.5

形 成 外 科

1) 次世代の乳がん検診 ナッジによる健診勧奨とその論理的議論 公衆衛生論理 × 乳がん検診
恋水諄源

雑誌名 日本乳癌検診学会誌

巻号 Vol.31 No.2 頁 p.137 - 141

年月 2022

2) 深部切除マージンの決定に苦慮したブルーリ潰瘍の1例

恋水諄源、大狩慶治、貫野 賢

雑誌名 形成外科

巻号 Vol.65 No.6 頁 p.655 - 661

年月 2022

3) 専門チームが協働し在宅看取りが可能であった小児がん2症例の検討

山本千明、長坂真由美、西川慶子、早田洋樹、川上定男、新田義宏、吉見あゆみ、青山弘美、深田良一、諸戸雅治、奥村能城、川見里奈、松井則子、小田雅之、向山和加乃、中村紳一郎、恋水諄源、荻野千恵子、松井明子

雑誌名 市立福知山市民病院医学雑誌

巻号 Vol.7 頁 p.58 - 64
年月 2022

脳神経外科

1) 遺残原始舌下神経動脈を伴う脳底動脈嚢形成
に破裂脳動脈瘤を生じた1例

丸尾知里、辻 篤司、齋藤 実、中島正之

雑誌名 脳血管内治療

巻号 Vol.7 No.1 頁 p.20 - 25

年月 2022.5

泌尿器科

1) Efficacy of tadalafil on symptom-specific
bother in men with lower urinary tract
symptoms

Hirahara N, Harikai S, Fujihara A, Yamada Y,
Ushijima S, Ukimura O

雑誌名 Low Urin Tract Symptoms

巻号 Vol.14 No.5 頁 p.393-400

年月 2022

小児外科

1) Hirschsprung 病類縁疾患

青井重善、津田知樹

雑誌名 小児外科

巻号 Vol.54 No.11 頁 p.1094 - 1097

年月 2022.11

2) Congenital multiple colonic atresias in the
sigmoid colon and upper rectum

Kai Konishi, Tomoki Tsuda, Yuichi Togashi,
Takuma Kawawaki, Atsuro Takimoto, Yuma
Takeuchi

雑誌名 Journal of Pediatric Surgery Case
Reports

巻号 89
年月 2023

薬剤部

1) Optimal sampling strategy and threshold of
serum vancomycin concentration in elderly
Japanese patients undergoing High-Flux
hemodialysis

Akio Ogawa, Daiki Hira, Masayuki Tsujimoto,
Kohshi Nishiguchi, Masanori Endo, Toshiaki
Ono, Tsuguru Hatta, Tomohiro Terada, Shin-va
Morita

雑誌名 Therapeutic Drug Monitoring

巻号 Vol. 44 No.3 頁 p.396 - 403

年月 2022.6

2) 第3章 IgA 腎症

林 八恵子

書名 腎臓病薬物療法専門・認定テキスト2版

頁 p. 95 - 98

年月 2022.6

3) 第3章 薬物療法の実践 2 高血圧

小川暁生

書名 薬学生のための病院・薬局実習テキスト

2022 年度版

年月 2022.7

4) 第22章 ネフローゼ症候群

林 八恵子

書名 薬剤師のための薬物療法問題集

頁 p. 172 - 179

年月 2022.9

看護部

看護管理室

1) パトリシア・ベナー～初心者から達人へ～

吉永典子

書名 看護理論のプレゼンテーションの基礎と
実際 (城ヶ端初子編著)

頁 p.65 - 67

年月 2023.3

2) 第4章「臨床看護におけるナイチンゲール看護思想の実践」～《小管理》を通して～

吉永典子

書名 看護理論のプレゼンテーションの基礎と
実際 (城ヶ端初子編著)

頁 p.58 - 66

年月 2023.3

外来

1) ベナー看護論～初心者から達人へ～

田村聡美

書名 看護理論のプレゼンテーションの基礎と
実際 (城ヶ端初子編著)

頁 p.100 - 101

年月 2023.3

2) 実践現場からの報告

田村聡美

書名 看護実践に生きているナイチンゲールの看護思想をみなおしてみよう！ - 「ナイチンゲール看護研究会・滋賀」の学びと歩み (城ヶ端初子編著)

頁 p.100 - 101

年月 2023.3

3) ヒルデガード・エリザベス・ペプロウ

- 人間関係の看護論 -

片山初美

書名 看護理論のプレゼンテーションの基礎と

実際 (城ヶ端初子編著)

頁 p.101 - 103

年月 2023.3

4) プレゼンテーションと私

片山初美

書名 看護理論のプレゼンテーションの基礎と
実際 (城ヶ端初子編著)

頁 p.122 - 124

年月 2023.3

5) ナイチンゲール研究会に参加して思うこと

- 換気的重要性について -

書名 看護実践に生きているナイチンゲールの看護思想をみなおしてみよう！ - 「ナイチンゲール看護研究会・滋賀」の学びと歩み (城ヶ端初子編著)

頁 p.103 - 105

年月 2023.3

6) 老年への過渡期にある2型糖尿病のセルフケア行動への影響要因

片山初美、流郷千幸

雑誌名 Seisen Journal of Nursing Studies
2023

巻号 Vol.12 頁 p.43 - 52

年月 2023.3

患者総合支援課

1) 看護理論のプレゼンテーション発表からの学び

近野由美

書名 看護理論のプレゼンテーションの基礎と
実際 (城ヶ端初子編著)

頁 p.109 - 111

年月 2023.3

2. 学会発表・講演

代謝・内分泌内科

1) 清涼飲料水ケトーシスが当初疑われた、劇症 1 型糖尿病の 1 例

植村雄大、石塚義崇、竹中大輔、卯木 智

第 237 回日本内科学会近畿地方会

豊中市 2022.9.10

2) 抗 GAD 抗体陽性小脳失調症患者が後に 1 型糖尿病を発症した 1 例

竹中大輔、石塚義崇、中村高秋、卯木 智

第 59 回日本糖尿病学会近畿地方会

神戸市 2022.11.5

3) 当初は急性腹症を疑われた劇症 1 型糖尿病の 1 例

大胡 滴、石塚義崇、竹中大輔、卯木 智

第 239 回日本内科学会近畿地方会

大阪市 2023.3.4

腎 臓 内 科

(腎臓センター)

1) ビグアナイドと SGLT2 阻害薬の併用患者が下垂体卒中を契機に乳酸アシドーシスを引き起こした 1 症例

藤北明日香、山内明日香、松本憲治、黒瀬 亮、

辻中瑛里香、三原 悠、門 浩志、八田 告

第 65 回日本腎臓学会・学術集会

神戸市 2022.6.10～12

2) ループス腎炎に対してステロイド減量のためにベリムバムを導入した 1 例

辻中瑛里香、松本憲治、黒瀬 亮、山内明日香、

三原 悠、門 浩志、八田 告

第 65 回日本腎臓学会・学術集会

神戸市 2022.6.10～12

3) 選択的 IgM 欠損症を合併した全身性エリテマトーデスの 1 例

松本憲治、三原 悠、山内明日香、黒瀬 亮、

辻中瑛里香、門 浩志、八田 告

第 65 回日本腎臓学会・学術集会

神戸市 2022.6.10～12

4) 血液透析導入期にたこつば型心筋症を発症して心停止した 1 症例

黒瀬 亮、三原 悠、松本憲治、辻中瑛里香、

山内明日香、門 浩志、八田 告

第 65 回日本腎臓学会・学術集会

神戸市 2022.6.10～12

5) CKD 患者のセルフケア行動および認識尺度の作成

片山初美、木内ひとみ、山下実保子、中川早苗、

門 浩志

第 65 回日本腎臓学会・学術集会

神戸市 2022.6.10～12

6) CKD に関わる薬のあれこれ

門 浩志

八幡蒲生薬剤師会 CKD 合同研修会

Web 2022.6.16

7) 劇症型溶連菌感染症による陰茎壊死に

Calciphylaxis の関与が疑われた血液透析患者の 1 例

黒瀬 亮、三原 悠、仲井邦浩、門 浩志、

細川洋平、八田 告

第 67 回日本透析医学会学術集会総会

横浜市 2022.7.1～2

8) 在宅血液透析継続・離脱について当院での指針を考える

牧田広之、永福啓一、久郷 稔、井本千秋、

西原万友美、中畠友美、森澤志摩子、門 浩志

第 67 回日本透析医学会学術集会総会

横浜市 2022.7.1～2

9) 長期留置型カテーテルが抜去困難となった超高齢血液透析患者の1例

三原 悠、黒瀬 亮、辻中瑛里香、中村匡志、足立大也、山内明日香、深井邦剛、門 浩志、八田 告

第67回日本透析医学会学術集会総会
横浜市 2022.7.1~2

10) コロナ透析患者への対応重症患者の対応を含めて

門 浩志

第43回滋賀腎・透析研究会
大津市 2022.9.11

11) ビグアナイドと SGLT2 阻害薬の併用患者が下垂体卒中を契機に乳酸アシドーシスを引き起こした一症例

藤北明日香、山内明日香、松本憲治、黒瀬 亮、辻中瑛里香、三原 悠、門 浩志、八田 告

第43回滋賀腎・透析研究会
大津市 2022.9.11

12) 地域で行う！シックデイ、Triplewhammy の取り組み

林 八恵子、三上友寛、山本圭恵、三原 悠、加納祐介、白井敬士、門 浩志、山口瑞彦

第16回腎臓病薬物療学会
長崎市 2022.10.29~30

13) ループス腎炎に対してステロイド減量のためにベリムバムを導入した1例

辻中瑛里香、松本憲治、黒瀬 亮、山内明日香、三原 悠、門 浩志、八田 告

第52回日本腎臓学会西部学術大会
熊本市 2022.11.18~19

14) 選択的 IgM 欠損症を合併した全身性エリテマトーデスの1例

松本憲治、三原 悠、山内明日香、黒瀬 亮、辻中瑛里香、門 浩志、八田 告

第52回日本腎臓学会西部学術大会
熊本市 2022.11.18~19

15) 血液透析導入期にたこつぼ型心筋症を発症して心停止した1症例

黒瀬 亮、三原 悠、松本憲治、辻中瑛里香、山内明日香、門 浩志、八田 告

第52回日本腎臓学会西部学術大会
熊本市 2022.11.18~19

16) 慢性腎臓病の進行を防ぐ治療とは？

門 浩志

第11回CKD 市民公開講座
近江八幡市 2022.12.4

消化器内科

1) 当院における HCV 拾い上げの取り組み

楊 孝治

第1回肝疾患診療連携カンファレンス
京都市 2022.4.28

2) A 群連鎖球菌感染症による原発性腹膜炎の1例

眞寄美佳、曾我幸一、高倉 駿、崔哲暢、北江博晃、楊 孝治、石川博己、赤松尚明

第236回日本内科学会近畿地方会
神戸市 2022.6.25

3) 院内連携による HCV 拾い上げの取り組み～肝炎医療コーディネーターの活動～

楊 孝治

C 型肝炎治療フォーラム
京都市 2022.9.2

4) 脂質異常症と肝疾患

石川博己

KOWA WEB Conference
近江八幡市 2022.9.15

5) Case & Discussion

曾我幸一

J-Wire User Workshop in Kyoto

京都市 2022.9.28

6) 生活習慣病と肝臓病～脂肪とアルコール～

石川博己

市民公開講座「肝臓癌撲滅を目指して」

大津市 2022.10.22

7) 健診にて指摘された Cronkhite-Canada

症候群疑診の一例

眞寄美佳、北江博晃、高倉 駿、崔 哲暢、

曾我幸一、楊 孝治、石川博己、赤松尚明

第 109 回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会

京都市 2022.11.5

血液内科

1) Covid-19 罹患後に急性増悪した特発性血小板減少性紫斑症の一例

前倉知佳

第 4 回 Kyoto Infection & Hematology Meeting

京都市 (Live ハイブリッド) 2022.4.8

2) 多発性骨髄種について

高橋良一

京都臨床検査技師セミナー

Web 開催 2022.4.20

3) MDS/AML の治療について

高橋良一

AbbVie Oncology Kinki Area 研修会

Web 2022.5.26

4) 新型コロナウイルスワクチン接種の関与が疑われた血球貪食性リンパ組織球症の 1 例

前倉知佳、岡野 晃、高橋良一、松本憲治、

三原 悠

第 237 回日本内科学会近畿地方会

豊中市 2022.9.10

5) COVID19 と血液疾患～COVID-19 重症肺炎を経験して～

前倉知佳

第 18 回近畿血液疾患治療研究会

京都市+ Web 2023.3.11

6) 当院でアシミニブを処方した一症例

岡野 晃

MPN Seminar in Shiga

草津市 2022.3.17

座長・講師等

1) 全身性 AL アミロイドーシス検討会 in 滋賀

Opening Remarks 高橋良一

Web 2022.5.25

2) 近江八幡地区感染対策セミナー

開会の辞 高橋良一

Web 2022.6.23

3) 第 15 回東近江がん治療カンファレンス

特別講演 司会 高橋良一

Web 2022.7.1

4) MPN Seminar in Shiga

座長 高橋良一

草津市 2023.3.17

脳神経内科

1) 筋萎縮性側索硬化症の診療状況と転帰に関する検討 (第 2 報)

松尾宏俊、藤井ちひろ、田原美喜、孫 明子、

中村拓真、田中章浩、能登祐一、小川暢弘、

北村彰浩、金 一暁、前田憲吾、長谷川浩史、

雨森正記、久我正文、漆谷 真、水野敏樹

第 63 回日本神経学会学術大会
東京 2022.5.18～21

2) 脳幹・小脳を中心に広範囲にリン酸化 α -synuclein の沈着を認めた多系統萎縮症の 1 剖検例
松尾宏俊、木内亮平、細川洋平、北大路隆正、
小泉 崇、高橋 央、丹藤 創、水野敏樹、
伊東恭子

第 63 回日本神経病理学会総会学術研究会
京都市 2022.6.24

3) 左右差のある錐体路障害を呈した筋萎縮性側索
硬化症の 1 剖検例
松尾宏俊、細川洋平、長谷川浩史、金 一暁、
田中章浩、高橋 央、丹藤 創、漆谷 真、
梶 龍兒、伊東恭子

第 63 回日本神経病理学会総会学術研究会
京都市 2022.6.24

4) 左右差のある錐体路障害を呈した筋萎縮性側索
硬化症の 1 剖検例
松尾宏俊、細川洋平、長谷川浩史、金 一暁、
田中章浩、高橋 央、丹藤 創
日本神経学会第 122 回近畿地方会
豊中市 2022.7.30

5) 当科における NMOSD 治療の取り組み
松尾宏俊
NMOSD UpToDate in 滋賀
Web 開催 2022.9.8

6) COVID-19 ワクチン接種後に対麻痺を発症し、
急性散在性脳脊髄炎との鑑別を要した脊髄動静脈奇
形の 1 例
松尾宏俊、田中章浩
第 40 回日本神経治療学会学術集会
郡山市 2022.11.2～4

7) 集学的治療が奏効し、重篤な状態から社会復帰
を果たした抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例

松尾宏俊、矢原愛純、松島 洋、小野哲男、
南田 敦、砂原康人、立川弘孝、越知康子、
古屋 亮、池田和弘

日本神経学会第 123 回近畿地方会
神戸市 2022.12.17

8) 当初脳梗塞との鑑別を要し、左片麻痺が遷延し
たものの、継続的なリハビリテーションにより社会
復帰を果たした単純ヘルペス脳炎の 1 例

水野佑香、松尾宏俊、田中章浩、辻中瑛里香、
卯津羅泰徳、中島正之

第 124 回神経学会近畿地方会
大阪市 2023.3.5

9) 当院における 12 年間の急性期脳梗塞症例の診
療状況の推移の解析

松尾宏俊、丸尾知里、齋藤 実、中島正之

STROKE 2023

横浜市 2023.3.16～18

10) 当院通院中の成人てんかん患者の診療状況
松尾宏俊

クローズアップてんかん Seminar

～ てんかん診療 up to date ～

Web 開催 2023.3.22

座長・講師等

1) パーキンソン病診療セミナー in 近江八幡

座長 松尾宏俊

Web 開催 2023.3.27

循環器内科

1) 非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) に対する
新規治療薬の検討

南 喜人

第 119 回日本内科学会総会

Web 開催 2022.4.17

2) 急性大動脈解離に伴い急性冠症候群を生じた 2

症例

柴田 涼

第 41 回京都心筋梗塞研究会

京都市 2022.4.23

3) Cutting balloon 回収時に stent deformation を
来した一例

長井智之

第 34 回滋賀カテーテルインターベンションカンフ
ァレンス

草津市 2022.5.21

4) 脳卒中と循環器病克服第二次五ヵ年計画
～我々が向かう道～ (特別講演)

中上 拓男

第 1 回滋賀循環器懇話会

栗東市 2022.5.22

5) SwanGanzs カテーテルでの肺動脈損傷を血管
内超音波で評価した 1 例

深井邦剛、古屋 亮、柴田 涼、長井智之、
木村英希、宗像 潤、南 喜人、鬼界雅一、
濱岡哲郎、中上拓男、白山武司

第 10 回大阪府公立病院ベンチマーク勉強会

大阪市 2022.6.1

6) 当院外来心臓リハビリテーションでの最大酸素
摂取率勾配 (OUES) の活用

西川真理恵、亀井彩子、尾上良歩、森本順子、
奥村高弘、南 喜人、鬼界雅一、深井邦剛、
中上拓男

第 28 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会

那覇市 (ハイブリッド開催) 2022.6.11.～12

7) HACEK group による感染性心内膜炎を原因と
した急性大動脈弁閉鎖不全症の一例

柴田 涼

第 133 回日本循環器学会近畿地方会

豊中市 2022.6.18

8) Long-term outcome and the impact of OCT

findings of stent-in-stent treatment for ISR
lesions of patients with coronary artery disease

木村英希

第 30 回 CVIT 総会

横浜市 (ハイブリッド開催) 2022.7.21～23

9) Liver lipophagy ameliorates nonalcoholic fatty
liver disease through lysosomal exocytosis

南 喜人

第 26 回日本内分泌代謝学会総会 (YIA 受賞演題)

京都市 2022.10.12

10) 慢性心不全治療 Up To Date

中上拓男

第 29 回東近江臨床勉強会 (教育講演)

Web 開催 2022.11.10

11) A784 19 歳 男性 : COVID19 ワクチン接種
後に発症した若年劇症型心筋炎の一例

藤北明日香、柴田 涼、中上拓男、加藤 健、
濱田新七

2022 年度 第 2 回臨床病理検討会 (CPC)

近江八幡市 2022.11.28

12) SARS-CoV-2 ワクチン接種後に劇症型心筋炎
による VF storm を発症し死亡に至った若年男性の
1 例

柴田 涼

第 134 回日本循環器学会近畿地方会

大阪市 2022.12.10

13) 感染性上腸間膜瘤破裂を合併した感染性心内
膜炎の一例

長井智之

第 134 回日本循環器学会近畿地方会

大阪市 2022.12.10

14) 右冠動脈拡張症の長区域血栓閉塞病変に対
して long balloon KBT が有用であった一例

古屋 亮

第 40 回 CVIT 近畿地方会
豊中市（ハイブリッド開催）2023.2.11

1 5) Cutting balloon 回収時に Stent
deformation をきたした一例

長井智之

第 40 回 CVIT 近畿地方会
豊中市（ハイブリッド開催）2023.2.11

1 6) 大腿 - 膝窩動脈バイパス術後遠隔期に急性下
肢虚血を発症し、ハイブリッド治療にて救命しえた
一例

柴田 涼

第 40 回 CVIT 近畿地方会
豊中市（ハイブリッド開催）2023.2.11

1 7) 総腸骨動脈に留置した Viabahn VBX の早期
閉塞を来した高齢円背女性の一例

内尾祐貴

第 40 回 CVIT 近畿地方会
豊中市（ハイブリッド開催）2023.2.11

1 8) 心不全ってどんな病気？

鬼界雅一

第 1 回循環器内科心不全市民公開講座
近江八幡市 2023.2.18

国際学会

1) Toe blood flow pattern just after pedal arch
angioplasty and foot prognosis in the CLTI
patients

Speakers' corner Kuniyoshi Fukai

The LINC 2022

Leipzig, Germany and virtual 2022.6.6～9

2) Heart Failure / Chronic Heart Failure
Management of doxorubicin-induced
cardiomyopathy as the adverse event of
chemotherapy in acute critical decompensated
heart failure: a case report

Tomoyuki Nagai

ESC Congress 2022

Barcelona, Spain 2022.8.27～29

座長・コメンテーター等

1) 初発心不全に対する心不全教育プログラム、再
入院予防

ディスカッション 心不全チーム

第 2 回 近江八幡心不全地域連携の会
近江八幡市 2022.11.24

2) ～薬物療法～ 厳格派・マイルド派 どっち？

ディスカッション 心不全チーム

第 3 回 近江八幡心不全地域連携の会
近江八幡市 2023.1.26

3) 一般口演 (EVT③)

座長 中上拓男

第 40 回 CVIT 近畿地方会
豊中市（ハイブリッド開催）2023.2.11

4) ランチョンセミナー 4 HBR SUMMIT

～出血リスクを再考する～

コメンテーター 鬼界雅一

第 40 回 CVIT 近畿地方会
豊中市（ハイブリッド開催）2023.2.11

5) 心不全教育のタイミングと方法

ディスカッション 心不全チーム

第 4 回 近江八幡心不全地域連携の会
近江八幡市 2023.3.23

放 射 線 科

1) 症例①：拡がり診断に難渋した左乳癌の一例
岬 紗耶香、村上陽子、土屋桂子

第 17 回関西乳房 MRI 勉強会

Web 2022.10.15

2) 胸部 X 線写真で見えるちょっとした紛らわしい

所見（正常構造、正常変異を含む）

松尾寿保

令和4年度 第1回肺がん検診従事者講習会

大津市（ハイブリッド開催） 2022.12.18

3）胸部X線写真で見えるちょっとした紛らわしい
所見（正常変異を中心に）

松尾寿保

令和4年度 草津市胸部レントゲンを学ぶ会

（肺がん検診従事者講習会）

Web開催 2023.3.4

整形外科

1）下腿遠位部挟撃損傷の1例

久我研作、入山圭司

京滋重度四肢外傷「初期治療」Peer Review Meetin

Web 2022.5.21

2）足関節果部骨折

杉本一樹

整形外科外傷の基本 オンラインセミナー

第10回レジランド

Web 2022.5.27

3）膝関節樹枝状脂肪腫に前方及び後方鏡視下切除
術を施行した1例

杉本一樹、前田 勉、山村仁誌、堀川禎文、

入山圭司、久我研作、中村 陽、森本 茂

滋賀県 Knee フロンティア

草津市 2022.7.30

4）左尺骨短縮骨切り術後の変形性肘関節症の1例

久我研作、竹村宜記、児玉成人

第25回京滋手外科・末梢神経セミナー

Web 2022.9.3

5）主幹動脈損傷を合併した重度四肢外傷3例の遊
離皮弁レシipient血管選択の検討

久我研作、恋水諄源、矢持 良、児玉成人

第49回マイクロサージャリー学会学術集会

浜松市 2022.12.1～2

6）CBT法におけるナビゲーションの有効性

中村 陽、森 幹士、彌山峰史、西澤和也、

北川誠大、影井祐介、今井晋二

第31回日本脊椎インストゥルメンテーション学会

大阪市 2022.11.25～26

7）骨粗鬆症治療の選択と使用法～急性期病院にお
ける病薬連携を考える～

久我研作

OCMCWEB

近江八幡市 2023.2.25

外科

1）HER2偽陰性と考えられる多発性骨転移を伴っ
た両側HER2陽性進行乳癌の1例

門谷弥生、大坂雅史、秋岡清一

第30回日本乳癌学会学術総会

横浜市 2022.6.30～7.2

2）左傍十二指腸ヘルニアとの鑑別に難渋した索状
物による内ヘルニアに対して腹腔鏡手術を行った1
例

小西 快、中野且敬、矢原愛純、川脇拓磨、

小城正大、荒谷憲一、門谷弥生、秋岡清一

第84回日本臨床外科学会総会

福岡市 2022.11.24～26

3）化学療法後ホルモン受容体が陽転化したトリプ
ルネガティブ進行乳癌の1例

門谷弥生、矢原愛純、川脇拓磨、小西 快、

小城正大、荒谷憲一、秋岡清一、中野且敬

第84回日本臨床外科学会総会

福岡市 2022.11.24～26

脳 神 経 外 科

4) Indocyanine green 蛍光法を利用して単孔式腹腔鏡下肝嚢胞開窓術を行った巨大肝嚢胞の1例

小西 快、荒谷憲一、小城正大、中野且敬

第35回日本内視鏡外科学会総会

名古屋市 2022.12.8～10

5) 当科の腹腔鏡下およびロボット支援下噴門側胃切除術の再建法における modified SOFY 法と短期成績

荒谷憲一、矢原愛純、小城正大、中野且敬

日本消化器病学会近畿支部第118回例会

京都市 2023.1.21

6) ロボット支援下胃切除で術中内視鏡により胃切除線決定を行う際の Tile Pro 機能の有用性

荒谷憲一、萩野元晴、矢原愛純、小西 快、

小城正大、中野且敬

第15回日本ロボット外科学会学術集会

名古屋市 2023.2.2～3

7) 一般病院においてロボット支援下直腸癌手術、結腸癌手術を同時期に導入した経験

中野且敬、萩野元晴、矢原愛純、小西 快、

小城正大、荒谷憲一

第15回日本ロボット外科学会学術集会

名古屋市 2023.2.2～3

8) 腹腔鏡下に barbed suture 糸で縫合閉鎖を行った外傷性横隔膜ヘルニアの1例

小西 快、荒谷憲一、矢原愛純、小城正大、

中野且敬

第59回日本腹部救急医学会総会

宜野湾市 2023.3.9～10

9) 単孔式腹腔鏡下手術を施行した横行結腸間膜内ヘルニアの1例

小城正大、中野且敬、矢原愛純、小西 快

荒谷憲一

第59回日本腹部救急医学会総会

宜野湾市 2023.3.9～10

1) 遺残性原始舌下神経動脈を伴う脳底動脈窓形成に破裂脳動脈瘤を生じた1例

丸尾知里、辻 篤司、齋藤 実、中島正之

第82回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会

豊中市 2022.9.3

2) クラゾセンタンを使用した症例について

丸尾知里、辻 篤司、齋藤 実、中島正之

SAH Expert Seminar in Siga

Web 開催 2022.9.9

3) 当院における血栓回収療法について

丸尾知里

脳卒中医療連携講演会

Web 2022.10.27

4) 脳卒中後疼痛に対する当科での治療経験

中島正之

痛みの治療 Up To Date～脳神経外科編～

Web 2023.3.1

5) 当初脳梗塞との鑑別を要し、左片麻痺が遷延したものの、継続的なリハビリテーションにより社会復帰を果たした単純ヘルペス脳炎の1例

水野佑香、松尾宏俊、田中章浩、辻中瑛里香、

卯津羅泰徳、中島正之

第124回神経学会近畿地方会

大阪市 2023.3.5

6) MY 備蓄促進への取り組み ～災害拠点病院職員の自助意識の向上に繋げる活動の一步として～

松本美沙、中島正之、吉永典子、大坂雅史、

宮崎 健、三上友寛

第28回日本災害医学会総会・学術集会

盛岡市 2023.3.9～11

7) 脳卒中患者における退院支援の介入効果の検討
星野美千代、森田 曜、中川 響、岡部雅斗、

丸尾知里、齋藤 実、松尾宏俊、中島正之

STROKE 2023

横浜市 2023.3.16~18

8) 回復期リハビリテーション病院への転院患者に
おける栄養量の充足状態

佐野房子、森田 曜、中川 響、岡部雅斗、

小見山こず恵、丸尾知里、齋藤 実、松尾宏俊、中
島正之

STROKE 2023

横浜市 2023.3.16~18

9) 当院における12年間の急性期脳梗塞症例の診
療状況の推移の解析

松尾宏俊、丸尾知里、齋藤 実、中島正之

STROKE 2023

横浜市 2023.3.16~18

座長等

1) SHA Expert Seminar

座長 中島正之

Web 2023.2.2

病 理 診 断 科

1) A783 88歳 男性：左尿管原発の後腹膜腫瘍の
1例

植村雄大、崔 哲暢、赤松尚明、松尾寿保、

本田水月、細川洋平、濱田新七

2022年度 第1回臨床病理検討会 (CPC)

近江八幡市 2022.10.24

2) A784 19歳 男性：COVID19 ワクチン接種後
に発症した若年劇症型心筋炎の1例

藤北明日香、柴田 涼、中上拓男、加藤 健、

濱田新七

2022年度 第2回臨床病理検討会 (CPC)

近江八幡市 2022.11.28

3) A785 68歳 男性：原疾患不明であった吸気性
喘鳴の症例

長村紫帆、関西亮太郎、山口 琢、松尾寿保

土屋桂子、内中将貴、濱田新七

2022年度 第3回臨床病理検討会 (CPC)

近江八幡市 2022.12.16

4) A782 78歳 男性：誤嚥性肺炎を機に進行性核
上麻痺が疑われたが、その証拠は見いだされなかつ
た一例

白井鈴華、辻中瑛里香、門 浩志、松尾寿保、

土屋桂子、本田水月、細川洋平、濱田新七、

伊東恭子

2022年度 第4回臨床病理検討会 (CPC)

近江八幡市 2023.01.16

5) A787 67歳 男性：膜性腎症に播種性クリプトコ
ッカス症を合併した一例

谷川璃香、黒瀬 亮、門 浩志、松尾寿保、

土屋桂子、加藤 健、濱田新七

2022年度 第5回臨床病理検討会 (CPC)

近江八幡市 2023.02.16.

6) A789 62歳 女性：臍頭十二指腸切除後に出血
で急な転帰をたどった症例

田中 拓、中野且敬、秋岡清一、松尾寿保、

土屋桂子、加藤健、濱田新七

2022年度 第6回臨床病理検討会 (CPC)

近江八幡市 2023.03.09.

泌 尿 器 科

1) MRI で可視化された前立腺癌における超音波検
査の役割

大橋宗洋、本郷文弥、沖原宏治、落合 厚、

牛嶋 壮、小倉涼太、多賀英人、白石 匠、

浮村 理

日本超音波医学会第95回学術集会

名古屋市 2022.5.20

2) 前立腺癌の診断と治療

高村俊哉

第1回東近江医療圏・湖東医療圏合同病診連携の会
近江八幡市 2022.6.22

3) 薬剤師に向けた排尿障害のトリセツ

牛嶋 壮

八幡蒲生薬剤師会研修会
近江八幡市 2022.6.25

4) 当院で経験した腎平滑筋肉腫の1例

松田旭央、岡本 麻、高村俊哉、牛嶋 壮、
宮下浩明

第39回滋賀泌尿器科集談会
草津市 2022.10.15

5) 異なる組織型を呈した同側同時性腎癌の1例

岡本 麻、松田旭央、高村俊哉、牛嶋 壮、
宮下浩明

第251回日本泌尿器科学会関西地方会
神戸市 2022.10.29

6) 5-アミノレブリン酸を用いた光力学診断併用
TURBTの当院での治療経験

高村俊哉、松田旭央、岡本 麻、牛嶋 壮、
宮下浩明

第36回日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会
神戸市 2022.11.11

7) 前立腺生検適応の変遷と結果～MRIの活用～

牛嶋 壮

第27回滋賀県泌尿器疾患懇話会
大津市 2023.3.2

心 臓 血 管 外 科

1) 左内腸骨動脈破裂と静脈穿破に対する緊急
EVAR後、感染性大動脈瘤を診断された症例

乃田浩光

第63回日本脈管学会学術総会
横浜市 2022.10.27～28

2) Acute heart failure due to rupture of an aortic
pseudoaneurysm into the right atrium

Nobunari Tomura, Takuo Nakagami, Masakazu
Kikai, Tetsuro Hamaoka, Kuniyoshi Fukai,
Shinichiro Yamaguchi, Keiji Matsubayashi,
Satoaki Matoba

American Heart Association's annual Scientific
Session 2022
Chicago 2022.11

3) 外傷性胸部大動脈瘤損傷に対するTEVARにて
救命した2例

乃田浩光、松林景二、森 陽太郎

第53回日本心臓血管外科学会学術総会
旭川市 2023.3.24

4) 当施設での開心術周術期における一酸化窒素吸
入療法の使用経験と成績の報告

森 陽太郎、角 宏明、島田ゆうじ、松岡健太郎、
脇阪穂高、鉢呂康平、森本雅憲、榎本匡秀、
高島範之、鈴木友彰

第53回日本心臓血管外科学会学術総会
旭川市 2023.3.23

眼 科

1) 眼科受診を契機に遺伝性トランスサイレチンア
ミロイドーシスと診断された1例

梶原由紀子、小幡峻平、西信良嗣、大路正人

第126回日本眼科学会総会
大阪市 2022.4.14～17

耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科

1) 頸部悪性神経鞘腫瘍の一例

越知康子、丁 剛

第46回日本頭頸部癌学会
奈良市 2022.6.17～18

2) 急速に進行した甲状腺腫瘍の2例

石田侑希也、越知康子、丁 剛

第142回耳鼻京滋合同地方部会

大津市 2023.3.25

座長等

1) 一般演題

座長 越知康子

第48回日本耳鼻咽喉科学会滋賀県地方部会

草津市 2022.6.26

2) 第Ⅲ群

座長 丁 剛

第141回日耳鼻京滋合同地方部会

京都市 2022.12.10

3) 第Ⅳ群

座長 丁 剛

第142回日耳鼻京滋合同地方部会

京都市 2023.3.25

皮膚科

1) 皮膚科疾患の治療

金久史尚

痛みの治療がわかる会 皮膚科編

Web (近江八幡市) 2022.4.21

2) 播種性クリプトコッカス症の1例

岡本拓希、金久史尚、宮下 文、黒瀬 亮

第478回日本皮膚科学会京滋地方会

京都市 web ハイブリッド 2022.12.17

3) 再発性蜂窩織炎について

金久史尚

第7回 dermatology web seminar

京都市 web ハイブリッド 2023.1.26

4) COVID-19 ワクチン接種後に発症した急性汎発性発疹性膿疱症の1例

岡本拓希、金久史尚、宮下 文

第479回日本皮膚科学会京滋地方会

京都市 web ハイブリッド 2023.3.4

座長等

1) 東近江医療圏アトピー性皮膚炎治療病診連携の会

座長 金久史尚

近江八幡市 web ハイブリッド 2022.10.20

産婦人科

1) 直腸腔間隙に発生する後腹膜悪性腫瘍へのtaTME (経肛門的直腸間膜切除) の応用

大西拓人、天野 創、中村暁子、西村宙起、

米岡 完、辻 俊一郎、村上 節

第64回日本婦人科腫瘍学会学術講演会

福岡市 2022.7.14~16

2) 産婦人科診療ガイドライン産科編 2020 における妊婦の耐糖能異常検査変更について妥当性の検討

- 当院における妊娠初期 75gOGTT 陽性者の検討 -

小野哲男、前田倫子、岡田奈津実、草場紗智子、

竹川哲史、松島 洋、初田和勝

第74階日本産科婦人科学会学術講演会

福岡市 2022.8.5~7

3) 肝門部リンパ節への孤発性再発に対して腹腔鏡下に完全切除し得た卵巣癌の1例

竹川哲史、松島 洋、中野且敬、垣淵晃代、

大西拓人、前田倫子、岡田奈津実、草場紗智子、

小野哲男

第62回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

横浜市 2022.9.8~10

小 児 科

1) 抗 NMDA 受容体脳炎を発症した 12 歳女兒の一例

中嶋麻子、佐藤知実、吉田 忍、白波瀬明子、
中井隆雄、石川継洋、林谷俊一、山本由佳、
中谷恵理、狭川浩規、増田俊樹、石川珠代、
西澤嘉四郎、津田知樹、小西 快、川脇拓磨、
沖野剛志、山本佳樹、田中政幸

第 87 回日本小児科学会滋賀地方会
大津市 2022.5.22

小 児 外 科

1) 術前に精巣虚血を診断しえた鼠径ヘルニア嵌頓の一例

津田知樹、川脇拓磨、小西 快、武内悠馬、
瀧本篤朗

第 59 回日本小外科学会学術集会
東京 2022.5.19～21

2) 非観血的整復が不可能な腸重積症と判断した結腸ポリープの一例

川脇拓磨、小西 快、津田知樹、高山勝平、
金 聖和、東 真弓、文野誠久、青井重善、
古川泰三、田尻達郎

第 59 回日本小外科学会学術集会
東京 2022.5.19～21

3) 小児卵巣茎捻転 16 例の臨床的検討

小西 快、津田知樹、川脇拓磨

第 59 回日本小外科学会学術集会
東京 2022.5.19～21

4) 高吸水性樹脂の異物誤飲により手術を要した腸閉塞の 1 例

川脇拓磨、小西 快、富樫佑一、津田知樹

第 87 回日本小児科学会滋賀地方会
大津市 2022.5.22

5) 抗 NMDA 受容体脳炎を発症した 12 歳女兒の一例

中嶋麻子、佐藤知実、吉田 忍、白波瀬明子、
中井隆雄、石川継洋、林谷俊一、山本由佳、
中谷恵理、狭川浩規、増田俊樹、石川珠代、
西澤嘉四郎、津田知樹、小西 快、川脇拓磨、
沖野剛志、山本佳樹、田中政幸

第 87 回日本小児科学会滋賀地方会
大津市 2022.5.22

6) 先天性多発結腸閉鎖症の 1 例

津田知樹、瀧本篤朗、小西 快

第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会
横浜市 2022.7.10～12

7) 当院で導入した新生児小腸瘻造設後の持続腸液注入療法の 1 例

小西 快、津田知樹

第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会
横浜市 2022.7.10～12

8) 複数のネオジム磁石誤飲で外科的治療を要した一例

富樫佑一、川脇拓磨、小西 快、津田知樹

第 58 回日本小児外科学会近畿地方会
大阪市 2022.8.27

9) 診断・治療に苦慮している消化管閉塞の 1 例

津田知樹、小豆澤敬幸、栗名都史絵、北野 英、
富樫佑一、小西 快

第 86 回小児外科わからん会
大阪市 2022.9.24

10) 消化管症状を欠き、難治性肛門周囲膿瘍のみで発症した Crohn 病の 9 歳児男児

谷岡 篤、佐藤知実、津田知樹、丸尾良浩

第 88 回日本小児科学会滋賀地方会
大津市 2022.10.1

11) 当科で経験した原発性小腸軸捻転症 4 例の検討

津田知樹、川脇拓磨、小西 快

第 84 回日本臨床外科学会総会

福岡市 2022.11.24～26

1 2) 当科で継続管理している Isolated

Hypoganglionosis の 1 例

津田知樹、青井重善、富樫佑一、小西 快

第 52 回日本小児消化管機能研究会

東京 2023.2.11

1 3) 嘔吐の原因は？～有嚢性横隔膜ヘルニアに肥厚性幽門狭窄症が合併した一例～

津田知樹、富樫佑一、小西 快

第 8 7 回小児外科わからん会

Web + 大阪市 2023.2.25

1 4) 外科的治療を要した乳児消化管異物 2 例の検討

富樫佑一、小西 快、川脇拓磨、津田知樹

第 59 回日本腹部救急医学会総会

宜野湾市 2023.3.9～10

形成外科

1) 医療 AI は形成外科診療をどう変えるのか 臨床倫理の視座から

恋水諄源

第 65 回日本形成外科学会総会・学術集会

大阪市 2022.4.20～22

2) ポーランド症候群患者の乳房インプラントを DIEP flap で置き換えた 1 例

矢持 良、恋水諄源

第 41 回京都府立医科大学形成外科学術集会

京都市 2022.10.1

3) 倫理コンサルテーションがうまくいく条件を考える - チームメンバー構成とチームの役割に着目して -

恋水諄源

第 10 回日本臨床倫理学会

東京 2023.3.19

4) りんこん研究会活動報告 - 臨床倫理コンサルテーションの質向上・運営課題解決に向けた交流の場を構築する取り組み -

恋水諄源、下新原直子、前田一枝、伊藤悠子、森 泰清、是澤広美、恒松真由美、光本保英、佐藤恵子、児玉 聡、松村優子

第 10 回日本臨床倫理学会

東京 2023.3.19

薬剤部

1) バンドル”C”：鎮静・鎮痛薬の選択に対する取り組み

小川暁生

Lake Biwa ICU Web Meeting

Web 2022.4.15

2) 中堅薬剤師のキャリア形成とワークライフインテグレーション～バランスの取りにくい日々での奮闘

林 八恵子

Pharmaceutical online seminar in Yamaguchi

Web 2022.5.14

3) 地域で行う！CKD 患者を薬剤性腎障害から守る取り組み

林 八恵子

八幡蒲生薬剤師会合同研修会

Web 2022.6.16

4) リンパ種における副作用対策

松井 諒

第 15 回 東近江がん治療カンファレンス

Web 2022.7.1

5) 薬剤性腎障害の回避を実践しよう

林 八恵子

大阪府病院薬剤師会研修会

大阪市 2022.8.21

6) 緩和ケア患者の連携について～病院の立場から

加藤諭美

第 11 回 がんとレジメン合同研修会

近江八幡市 2022.9.29

7) エンハーツ院内運用について

山本圭恵

第 11 回 がんとレジメン合同研修会

近江八幡市 2022.9.29

8) 地域で行う！シックデイ、Triplewhammy の取り組み

林 八恵子、三上友寛、山本圭恵、三原 悠、

加納祐介、白井敬士、門 浩志、山口瑞彦

第 16 回腎臓病薬物療法学会

長崎市 2022.10.29～30

9) 小児領域における施設間情報連絡書の有用性の検討

高見麻友

第 49 回日本小児臨床薬理学会学術集会

東京 2022.11.4

10) 他科疾患治療薬による薬剤性腎障害～リスク薬の網羅と情報発信～

林 八恵子

第 112 回関西腎と薬剤研究会 特別シンポジウム

Web 2022.11.26

11) チーム医療について

高見麻友、武内沙知、山田真吾、三上友寛

立命館大学薬学部 2 回生特別講義

草津市 2022.11.26

12) くすりと腎臓について

三上友寛

第 11 回 CKD 市民公開講座

近江八幡市 2022.12.4

13) ポリファーマシー患者への薬剤師の関わり

林 八恵子

近江八幡心不全地域連携の会

近江八幡市 2023.1.26

14) 心不全療養指導士の薬剤師の役割

林 八恵子

八幡蒲生薬剤師会研修会

近江八幡市 2023.1.28

15) 院内全体で行う HBV 再活性化予防への関わり～薬剤師の立場から～

加藤諭美

滋賀県肝炎医療コーディネーター養成研修会

大津市 2023.1.29

16) YUNiCOM GX 「WEB 進捗システム」の利用と有用性

湯月翔太

第 44 回 日本病院薬剤師会近畿学術大会

Web 2023.2.4

17) 新型コロナウイルス感染症重症化に関わるリスク因子の検討

富岡明絵

第 44 回 日本病院薬剤師会近畿学術大会

Web 2023.2.4

18) COVID-19 患者における iPad で行う服薬指導と持参薬鑑別の運用についての薬剤部の取り組み

山田真吾

第 44 回 日本病院薬剤師会近畿学術大会

Web 2023.2.4

19) RPA 導入による薬剤業務の軽減効果の検討

小川暁生

第 44 回 日本病院薬剤師会近畿学術大会

Web 2023.2.4

20) オプジーボ+カボメティクスについて

松井 諒

第12回 がんレジメン合同研修会

近江八幡市 2023.2.16

21) 外来化学療法室における 内服抗がん薬への関わり

北野美鈴

第12回 がんレジメン合同研修会

近江八幡市 2023.2.16

22) 心不全の薬を知ろう！

林 八恵子

第1回循環器内科心不全市民公開講座

近江八幡市 2023.2.18

23) 施設間情報連絡書の実例集 7年間の実例

林 八恵子

滋賀県病院薬剤師会地域連携研修会

Web 2023.2.18

24) 経口糖尿病薬が処方された高齢者の腎機能別投与量確認の取り組み

高見麻友

第40回滋賀県インスリン治療懇話会

大津市 2023.3.11

放射線技術科

1) 救急で知っておきたい基礎知識「新型コロナ感染症を経験して」

後藤京介

第17回救急画像研究会

Web 開催 2022.9.14

栄養管理科

1) 声門下咽頭閉鎖術後、日中独居の在宅栄養管理

に移行できた視神経脊髄炎の一例

深谷千佳、中村高秋、溝江景子、岸本 匠、山田美穂、山本圭恵、森田 曜、鹿谷未香、石川博己

第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会

横浜市 2022.5.31～6.1

2) コロナ禍における食事の工夫 ～ カロリー調整と中食（なかしょく）について ～

中川千佳

第13回糖尿病市民公開講座

近江八幡市 2022.10.30

3) 工夫で変わる塩分量ビフォーアフター

井上知佳

第11回CKD 市民公開講座

近江八幡市 2022.12.4

4) 心不全の食事を知ろう

坂田賀菜

第1回循環器内科心不全市民公開講座

近江八幡市 2023.2.18

リハビリテーション科

1) 心臓リハビリテーション外来における患者特性の変化と今後の外来運用に関する課題

奥村高弘、尾上良歩、亀井彩子、西川真理恵

第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会

那覇市（ハイブリッド開催） 2022.6.11～12

2) 多職種による心不全チームの立ち上げ～効果と今後の課題～

山中順子、奥村高弘、坂田賀菜、松田悠子、

富田奈緒子、加藤 守、溝江景子、池上香織、

林 八恵子、鬼界雅一、中上拓男

第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会

那覇市（ハイブリッド開催） 2022.6.11～12

3) 筋活しませんか

門谷淳子

第13回糖尿病市民公開講座

ステイホーム下でできる糖尿病予防

近江八幡市 2022.10.30

4) 当院における脳卒中患者の生活乖離調査について

中川 響、住田真衣、山田憲佑、吉村修幸、

山口史子、杉田美紀

第17回滋賀県作業療法学会

東近江市（ハイブリッド開催）2022.11.27

5) 運動は腎臓を救う？

～その理由を理学療法士が解説します～

宮崎悠希

第11回CKD市民公開講座

近江八幡市 2022.12.4

6) 心不全でも体力はつけよう！運動に関する4つの疑問を理学療法士に聞いてみた！

奥村高弘

第1回循環器内科心不全市民公開講座

近江八幡市 2023.2.18

7) 脳卒中患者における退院支援の介入効果の検討

星野美千代、森田 曜、中川 響、岡部雅斗、

丸尾知里、齋藤 実、松尾宏俊、中島正之

STROKE 2023

横浜市 2023.3.16～18

座長

1) 第42回近畿作業療法学会

座長（一般演題・第4セッション）中川 響

Web開催 2022.6.12

臨床検査科

1) 腎臓病？検査しましょう！

中村美香

第11回CKD市民公開講座

近江八幡市 2022.12.4

2) グラム染色実技講習会

～グラム染色の手技と解釈を学ぶ～

近澤秀己

第2回臨床微生物部門研修会

長浜市 2022.9.3

3) 原点回帰 ～膿瘍・穿刺液・その他の材料における微生物検査の基本とup date～

近澤秀己

令和4年度日臨技近畿支部微生物部門秋季研修会

Web開催（福井）2022.10.22

4) ISO取得に向けて～免疫・化学部門ですべきこと～

前田知宏

滋賀医学検査学会

草津市 2023.2.13

臨床工学科

1) 在宅血液透析継続・離脱について当院での指針を考える

牧田広之、永福啓一、尾田勇樹、久郷 稔、門 浩志

第67回日本透析医学会学術集会・総会

横浜市 2022.7.1～3

2) 腎代替療法について

～腹膜透析や血液透析の紹介～

戸松賢太

第11回CKD市民公開講座

近江八幡市 2022.12.4

患者総合支援課

1) ストーマとの暮らしを支える地域連携

近野由美

第17回東近江医療圏がん診療公開講座

暮らしを支えるがん診療 ～私にもできること～

動画配信 2022.9.22～11.24

2) 脳卒中患者における退院支援の介入効果の検討

星野美千代、森田 曜、中川 響、岡部雅斗、

丸尾知里、齋藤 実、松尾宏俊、中島正之

STROKE 2023

横浜市 2023.3.16～18

看護部

看護管理室

1) フットケア回診を通して多職種連携が図れた

1 症例

中田真央、深井邦剛、恋水諄源、矢持 良、

金久史尚、岡本拓希、北田勇也、森本順子、

坂田賀菜

第3回日本フットケア・足病医学会年次学術集会

奈良市 2023.2.11～12

外来

1) CKD 患者のセルフケア行動および認識尺度の作成

片山初美、木内ひとみ、山下実保子、中川早苗、

門 浩志

第65回日本腎臓学会・学術集会

神戸市 2022.6.10～12

2) 55～65 歳の 2 型糖尿病患者のセルフケア行動に影響する要因

片山初美

第27回日本糖尿病教育・看護学会学術集会

大阪市 2022.9.17～18

3) CKD 患者のセルフケア行動および認識尺度の作成

片山初美、木内ひとみ、山下実保子、中川早苗、

門 浩志

第52回日本腎臓学会西部学術大会

熊本市 2022.11.18～19

4) 老年への過渡期にある 2 型糖尿病患者の家族サポートとセルフケア行動の関係

片山初美

第59回糖尿病学会近畿地方会

神戸市 2022.11.5

5) 事例を通して、糖尿病患者さんの支援を考える

片山初美

CDE セミナー

大津市 2023.1.21

6) 老年への過渡期にある 2 型糖尿病患者の性別によるセルフケア行動への影響要因

片山初美

糖尿病三方よし研究会

東近江市 2023.2.2

救命救急センター

1) MY 備蓄促進への取り組み ～災害拠点病院職員の自助意識の向上に繋げる活動の一步として～

松本美沙、中島正之、吉永典子、大坂雅史、

宮崎 健、三上友寛

第28回日本災害医学会総会・学術集会

盛岡市 2023.3.9～11

3階北病棟

1) ルーブリックを取り入れた助産師教育体制の構築

角山尚美

第63回日本母性衛生学会

神戸市 2022.9.9～9.10

2) 当院における COVID-19 患者を受け持つ看護師
の抱える想い

前田 唯

第 25 回滋賀県看護学会

草津市 2022.12.8

手術室

1) A 病院手術室看護師の術後訪問に関する認識調
査

吉野直子、大西和代、武田厚喜

第 36 回日本手術看護学会年次大会

名古屋市 2022.11.4～5

3 階南病棟

1) 独居高齢透析患者の看護～急性期病院としての
役割と支援～

井本千秋

第 67 回日本透析医学会学術集会・総会

横浜市 2022.7.1～3

2) 患者さんの思いに寄り添える関わり～心的心声を
聴き、心をこめて応えられるように～

井本千秋

CKD - MBD Symposium2023

近江八幡市 2023.2.9

3) 腎臓病療養指導士になりませんか

井本千秋

CKD Web Seminar

近江八幡市 2023.3.23

4 階北病棟

1) 回復期リハビリテーション病院への転院患者に
おける栄養量の充足状態

佐野房子、松尾宏俊、中島正之、齋藤 実、

丸尾知里、森田 曜、中川 響、岡部雅斗、

小見山こずえ

STROKE 2023

横浜市 2023.3.16～18

4 階東病棟

1) ストーマケアに関するフローチャートの検証～
迷わない装具選択と退院指導を目指して～

正木美幸

第 41 回近江八幡市立総合医療センター看護部看護
研究発表会

近江八幡市 2023.3.11

4 階南病棟

1) 心不全療養指導士の目指すこと

池元香織

第 2 回近江八幡心不全連携の会

近江八幡市 2022.11.24

4 階西病棟

1) 当院循環器病棟のフットケアの現状と課題

桑原あかね

第 41 回近江八幡市立総合医療センター看護部看護
研究発表会

近江八幡市 2023.3.11

2) 当院における心不全教育プログラムについて

松田悠子

第 2 回近江八幡心不全連携の会

近江八幡市 2022.11.24

3) 心不全の自己管理を知ろう

奥村稚笑美

第 1 回循環器内科心不全市民公開講座

近江八幡市 2023.2.8

患者総合支援課

1) 訪問看護師が認識している心不全の後期高齢者
が再入院を回避するための関わり

近野由美

第 26 回日本看護管理学会学術集会

福岡市 2022.8.19～20

4 各種統計

令和4年度 近江八幡市病院事業決算報告書

(1)収益的収入及び支出

収入

区分	予 算 額				決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地 方 公 営 企 業 法 第 24 条 第 3 項 の 規 定 に 基 づ き 財 源 充 当 額 に 係 る 財 源 充 当 額	合 計			
第1款 病院事業収益	14,803,000,000	257,826,000	0	15,060,826,000	15,152,009,730	91,183,730	円
第1項 医療収益	13,946,985,000	△ 330,938,000	0	13,616,047,000	13,590,982,058	△ 25,064,942	うち仮受消費税 27,893,903
第2項 医療外収益	856,015,000	588,764,000	0	1,444,779,000	1,561,027,672	116,248,672	うち仮受消費税 12,706,975

支出

区分	予 算 額						決 算 額	地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 第 2 項 の 規 定 に 基 づ き 繰 越 額	不 用 額	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地 方 公 営 企 業 法 第 24 条 第 3 項 の 規 定 に 基 づ き 財 源 充 当 額 に 係 る 財 源 充 当 額	小 計	合 計			
第1款 病院事業費用	14,803,000,000	257,826,000	0	0	0	15,060,826,000	15,060,826,000	0	489,573,230	円
第1項 医療費用	14,384,044,000	257,826,000	0	0	0	14,641,870,000	14,641,870,000	0	505,786,162	うち仮払消費税 569,799,572
第2項 医療外費用	413,956,000	0	0	0	0	413,956,000	413,956,000	0	△ 21,212,932	うち仮払消費税 4,692,873
第3項 予備費	5,000,000	0	0	0	0	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	円

1款2項 地方公営企業法施行令第18条第5項ただし書（現金の支出を伴わない経費）の規定による

(2)資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算				額		決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費 通次繰越額に係る 財源充当額	合 計			
第 1 款 資 本 的 収 入	円 407,631,000	円 14,278,000	円 421,909,000	円 0	円 0	円 421,909,000	円 278,993,150	円 △ 142,915,850	円
第 1 項 企 業 債	300,000,000	0	300,000,000	0	0	300,000,000	150,000,000	△ 150,000,000	
第 2 項 出 資 金	107,631,000	0	107,631,000	0	0	107,631,000	107,631,000	0	
第 3 項 補 助 金	0	14,278,000	14,278,000	0	0	14,278,000	14,278,000	0	
第 4 項 投 資 償 還 収 入	0	0	0	0	0	0	7,084,150	7,084,150	

支 出

区 分	予 算				額		決 算 額	翌 年 度 繰 越 額		不 用 額	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流 用 増 減 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費 通次繰越額		地方公営企業法第26条の規定による繰越額	合 計		
第1款 資 本 的 支 出	円 1,761,394,000	円 254,078,000	円 0	円 2,015,472,000	円 189,700,000	円 0	円 2,079,254,710	円 0	円 0	円 125,917,290	円
第1項 建設改良費	660,699,000	254,078,000	0	914,777,000	189,700,000	0	990,810,282	0	0	113,666,718	うち仮払消費税 90,073,661
第2項 企業債償還金	1,058,345,000	0	0	1,058,345,000	0	0	1,051,344,428	0	0	7,000,572	
第3項 投 資	42,350,000	0	0	42,350,000	0	0	37,100,000	0	0	5,250,000	

資本的収入額が、資本的支出額に不足する額 1,800,261,560円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 2,242,010円および過年度損益勘定留保資金 1,798,019,550円で補てんした。

令和4年度 近江八幡市病院事業貸借対照表

(令和5年3月31日)

資 産 の 部		円	円
1. 固 定 資 産			
(1) 有形固定資産			
イ 土 地	1,702,987,189		
ロ 建 物	13,818,855,701		
減価償却累計額	<u>△ 4,998,150,323</u>	8,820,705,378	
ハ 構 築 物	116,943,100		
減価償却累計額	<u>△ 62,707,223</u>	54,235,877	
ニ 器 械 備 品	8,126,309,284		
減価償却累計額	<u>△ 5,379,866,287</u>	2,746,442,997	
ホ 車両及び運搬具	76,420,566		
減価償却累計額	<u>△ 70,817,553</u>	5,603,013	
ヘ リース資産	83,778,700		
減価償却累計額	<u>△ 79,589,765</u>	4,188,935	
ト 建設仮勘定	<u>23,500,000</u>		
有形固定資産合計		13,357,663,389	
(2) 無形固定資産			
イ 電話加入権	<u>4,050,800</u>		
無形固定資産合計		4,050,800	
(3) 投資その他の資産			
イ 長期貸付金	186,476,900		
ロ 長期貸付金返済免除引当金	<u>△ 134,076,900</u>	52,400,000	
ハ 長期前払消費税	<u>226,551,492</u>		
投資その他の資産合計		278,951,492	
固定資産合計			<u>13,640,665,681</u>
2. 流 動 資 産			
(1) 現金預金	5,543,494,883		
(2) 未 収 金	3,252,087,600		
(3) 貸 倒 引 当 金	△ 3,871,878		
(4) 貯 蔵 品			
イ 薬 品	<u>50,578,588</u>		
貯蔵品合計		50,578,588	
流動資産合計			<u>8,842,289,193</u>
資 産 合 計			<u>22,482,954,874</u>

負 債 の 部

	円	円	円	円
3. 固 定 負 債				
(1) 企 業 債				
イ 建設改良費等企業債	8,895,392,798			
企業債合計		8,895,392,798		
(2) 引 当 金				
イ 退職給付引当金	2,372,556,313			
ロ 修繕引当金	164,960,284			
引当金合計		2,537,516,597		
固定負債合計			<u>11,432,909,395</u>	
4. 流 動 負 債				
(1) 企 業 債				
イ 建設改良費等企業債	1,000,456,818			
企業債合計		1,000,456,818		
(2) 未 払 金		1,149,302,821		
(3) 引 当 金				
イ 賞与等引当金	397,884,796			
引当金合計		397,884,796		
(4) その他流動負債		34,773,944		
流動負債合計			<u>2,582,418,379</u>	
5. 繰 延 収 益				
(1) 長 期 前 受 金		1,144,036,929		
(2) 長期前受金収益化累計額		△ 569,979,932		
繰延収益合計			574,056,997	
負債合計			<u>14,589,384,771</u>	
	円	円	円	円
6. 資 本 金				
(1) 資 本 金		9,364,696,551		
資本金合計			<u>9,364,696,551</u>	
7. 剰 余 金				
(1) 利 益 剰 余 金				
イ 減 債 積 立 金	2,292,000			
ロ 当 年 度 未 処 理				
欠 損 金	△ 1,473,418,448			
利益剰余金合計		△ 1,471,126,448		
剰余金合計			<u>△ 1,471,126,448</u>	
資 本 合 計			<u>7,893,570,103</u>	
負債・資本合計			<u>22,482,954,874</u>	

令和4年度 近江八幡市病院事業損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1. 医 業 収 益	円	円	円
(1) 入 院 収 益	9,469,560,499		
(2) 外 来 収 益	3,512,279,890		
(3) そ の 他 医 業 収 益	<u>581,247,766</u>	<u>13,563,088,155</u>	
2. 医 業 費 用			
(1) 給 与 費	6,996,445,458		
(2) 材 料 費	3,608,752,946		
(3) 経 費	2,047,598,103		
(4) 減 価 償 却 費	868,407,733		
(5) 資 産 減 耗 費	13,066,958		
(6) 研 究 研 修 費	<u>32,013,068</u>	<u>13,566,284,266</u>	
医業利益（又は△医業損失）			<u>△ 3,196,111</u>
3. 医 業 外 収 益			
(1) 受取利息及び配当金	2,014,271		
(2) 補 助 金	717,887,642		
(3) 長 期 前 受 金 戻 入	42,060,780		
(4) 保 育 所 収 益	4,385,797		
(5) 沖 島 診 療 所 収 益	4,043,976		
(6) 受 託 研 究 収 益	50,917,722		
(7) 他 会 計 負 担 金	613,098,000		
(8) そ の 他 医 業 外 収 益	<u>113,912,509</u>	<u>1,548,320,697</u>	
4. 医 業 外 費 用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	169,205,572		
(2) 長期前払消費税勘定償却	56,637,873		
(3) 看 護 師 養 成 費	36,600,000		
(4) 保 育 所 費	32,796,720		
(5) 沖 島 診 療 所 運 営 費	8,257,223		
(6) 受 託 研 究 費	12,767,453		
(7) 雑 損 失	1,142,567		
(8) 雑 支 出	<u>649,201,269</u>	<u>966,608,677</u>	<u>581,712,020</u>
経常利益（又は△経常損失）			578,515,909
当年度純利益（又は△当年度純損失）			578,515,909
前年度繰越利益剰余金（又は△前年度繰越欠損金）			<u>△ 2,051,934,357</u>
当年度未処分利益剰余金（又は△当年度未処理欠損金）			<u><u>△ 1,473,418,448</u></u>

病院事業 医業収益・費用の詳細

(単位：千円)

	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額
医業収益	12,228,666	12,506,151	13,563,088
入院収益	8,586,463	8,498,016	9,469,560
外来収益	3,130,969	3,409,705	3,512,280
その他医業収益	511,235	598,429	581,248
室料差額収益	105,050	89,785	84,390
医療相談収益	98,385	133,993	132,686
他会計負担金	258,159	305,401	305,401
その他医業収益	49,641	69,250	58,771
医業費用	12,442,113	13,224,848	13,566,284
給与費	6,769,956	6,915,110	6,996,445
報酬	0	0	0
医師給	940,602	958,291	940,286
看護師給	1,417,549	1,423,817	1,427,120
医療技術員給	403,103	406,450	418,079
事務員給	249,987	259,067	267,407
労務員給	91,009	81,864	88,011
医師手当	914,800	972,890	971,756
看護師手当	848,717	863,482	875,147
医療技術員手当	216,741	212,828	217,200
事務員手当	82,047	87,611	99,003
労務員手当	28,420	25,405	26,420
賞金	0	0	0
法定福利費	868,334	908,088	913,994
退職給与金	301,515	317,594	354,137
賞与等引当金繰入額	407,132	397,723	397,885
材料費	3,084,934	3,455,669	3,608,753
薬品費	1,552,338	1,808,319	1,940,252
診療材料費	1,494,027	1,613,767	1,633,744
医療消耗備品費	38,569	33,583	34,757
経費	1,774,072	1,937,194	2,047,598
厚生福利費	13,269	16,085	16,454
報償費	1,227	1,438	915
旅費交通費	775	976	1,052
職員被服費	1,013	1,034	920
消耗品費	66,896	69,191	48,469
消耗備品費	9,137	7,731	9,200
光熱水費	141,872	150,917	193,881
燃料費	31,197	48,006	52,359
食糧費	45	7	17
印刷製本費	5,235	3,120	4,253
修繕料	64,269	68,786	70,540
保険料	18,671	17,993	19,839
賃借料	136,437	150,140	174,753
通信運搬費	12,847	13,756	13,598
委託料	1,251,868	1,360,314	1,410,094
諸会費	3,814	3,739	3,274
補償費及び賠償金	673	0	0
貸倒引当金繰入額	3,465	3,589	3,867
雑費	11,362	20,372	24,113
減価償却費	787,182	880,870	868,408
建物減価償却費	330,615	338,592	333,218
構築物減価償却費	7,944	7,944	7,944
器械備品減価償却費	439,446	529,928	526,491
車両及び運搬具減価償却費	755	755	755
リース資産減価償却費	8,422	3,651	0
資産減耗費	3,353	9,910	13,067
固定資産除却費	3,353	9,910	13,067
研修研究費	22,616	26,096	32,013
旅費	1,008	1,659	6,291
謝金	443	370	345
図書費	14,985	15,007	15,170
諸会費	4,886	7,487	8,866
研究雑費	1,294	1,572	1,341
医業損益	▲ 213,447	▲ 718,697	▲ 3,196

患者状況

(1) 利用者数

区 分		令 和 4 年 度		令 和 3 年 度		対 前 年 度 比 較		診 療 日 数
						増 減	伸 率	
入 院	延 人 員	118,681	人	120,656	人	-1,975	人 98.4 %	令和4年度 365 日
	1 日 平 均	325		331		-6	98.2	令和3年度 365 日
外 来	延 人 員	214,821		210,767		4,054	101.9	令和4年度 243 日
	1 日 平 均	884		867		17	102.0	令和3年度 243 日
計	延 人 員	333,502		331,423		2,079	100.6	
	1 日 平 均	1,209		1,198		11	100.9	

(2) 各科別延患者数

(単位：人)

区分	年度	内科	外科	整形外科	麻酔科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻科・ 咽喉科	眼科	脳神経 内科 (透視セナ)	腎臓 センター	放射 線科	健診 センター	循環器 内科	消化器 内科	小児 外科	代謝・ 内分泌 内科	腎臓 内科	血液 内科	呼吸器 内科	禁煙 外来	心臓血 管外科	形成 外科	リウマチ 膠原病 内科	呼吸器 外科	計
入院	4年度	5,657	7,691	18,116	0	6,888	7,711	8,829	2,129	4,493	1,232	1,074	2,428	0	-	-	14,032	15,519	953	2,797	9,124	6,225	0	-	2,266	1,517	0	-	118,681
	3年度	4,064	7,990	16,929	0	6,633	8,400	9,610	1,490	3,134	1,330	702	2,770	0	-	-	16,559	17,220	1,008	1,690	11,007	6,321	0	-	2,229	1,570	0	-	120,656
	増 減	1,593	-299	1,187	0	255	-689	-781	639	1,359	-98	372	-342	0	-	-	-2,527	-1,701	-55	1,107	-1,883	-96	0	-	37	-53	0	-	-1,975
外来	4年度	7,944	13,529	15,286	888	5,679	15,198	14,630	12,489	9,635	6,573	8,614	7,066	21,059	2,044	4,922	15,618	16,833	2,864	7,375	10,611	5,989	2,696	0	2,702	3,355	1,222	0	214,821
	3年度	7,433	13,053	14,205	936	5,531	13,491	13,725	13,146	9,640	6,822	7,209	6,994	22,554	2,031	5,103	17,429	16,095	2,732	6,961	10,732	5,668	2,591	1	2,465	2,583	1,637	0	210,767
	増 減	511	476	1,081	-48	148	1,707	905	-657	-5	-249	1,405	72	-1,495	13	-181	-1,811	738	132	414	-121	321	105	-1	237	772	-415	0	4,054
計	4年度	13,601	21,220	33,402	888	12,567	22,909	23,459	14,618	14,128	7,805	9,688	9,494	21,059	2,044	4,922	29,650	32,352	3,817	10,172	19,735	12,214	2,696	0	4,968	4,872	1,222	0	333,502
	3年度	11,497	21,043	31,134	936	12,164	21,891	23,335	14,636	12,774	8,152	7,911	9,764	22,554	2,031	5,103	33,988	33,315	3,740	8,651	21,739	11,989	2,591	1	4,694	4,153	1,637	0	331,423
	増 減	2,104	177	2,268	-48	403	1,018	124	-18	1,354	-347	1,777	-270	-1,495	13	-181	-4,338	-963	77	1,521	-2,004	225	105	-1	274	719	-415	0	2,079

(3) 各科別一日平均患者数

(単位：人)

区分	内科	外科	整形外科	麻酔科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科・ 頭頸部科	眼科	脳神経内科	腎臓センター (造新センター)	放射線科	健診センター	循環器内科	消化器内科	小児外科	代謝・ 内分泌内科	腎臓内科	血液内科	呼吸器内科	禁煙外来	心臓血管外科	形成外科	リウマチ 膠原病内科	呼吸器 外科	計
入院	15	21	50	0	19	21	24	6	12	3	3	7	0	0	0	38	43	3	8	25	17	0	0	4	0	0	0	325
外来	33	56	63	4	23	63	60	51	40	27	35	29	87	8	20	64	69	12	30	44	25	11	0	14	5	0	0	884
計	48	77	113	4	42	84	84	57	52	30	38	36	87	8	20	102	112	15	38	69	42	11	0	18	5	0	0	1,209

(4) 住所別患者数

(単位：患者数(人)、率(%))

区 分	市 内		竜王町	東近江市	日 野 町	野 洲 市	彦 根 市	そ の 他 県 内	県 外	計
	入	延患者数	62,038	29,981	1,344	3,247	4,072	8,376	1,847	118,681
		率	52.3	25.3	1.1	2.7	3.4	7.1	1.5	100.0
	院	3 年 度	延患者数	62,790	30,739	1,394	3,156	4,001	7,845	2,541
率		52.0	6.8	25.5	1.2	2.6	3.3	6.5	2.1	100.0
外	4 年 度	延患者数	124,530	48,976	2,271	6,486	5,560	13,302	2,720	214,821
	率	58.0	5.1	22.8	1.1	3.0	2.6	6.2	1.2	100.0
来	3 年 度	延患者数	123,483	47,155	1,951	6,206	5,111	13,084	2,764	210,767
	率	58.6	5.2	22.4	0.9	3.0	2.4	6.2	1.3	100.0
計	4 年 度	延患者数	186,568	78,957	3,615	9,733	9,632	21,678	4,567	333,502
	率	55.9	5.6	23.7	1.1	2.9	2.9	6.5	1.4	100.0
計	3 年 度	延患者数	186,273	77,894	3,345	9,362	9,112	20,929	5,305	331,423
	率	56.2	5.8	23.5	1.0	2.8	2.8	6.3	1.6	100.0

事業収入に関する事項

区 分	令 和 4 年 度	構 成 比	令 和 3 年 度	構 成 比	対 前 年 度 比 較	
					増 減	伸 率
入 院 収 益	9,469,560,499 円	62.665%	8,498,016,166 円	56.159%	971,544,333 円	111.4%
外 来 収 益	3,512,279,890	23.243	3,409,705,466	22.533	102,574,424	103.0
そ の 他 医 業 収 益	581,247,766	3.846	598,428,874	3.955	△ 17,181,108	97.1
受取利息及び配当金	2,014,271	0.013	2,268,834	0.015	△ 254,563	88.8
補 助 金	717,887,642	4.751	1,757,804,518	11.616	△ 1,039,916,876	40.8
長期前受金戻入	42,060,780	0.278	38,631,551	0.255	3,429,229	108.9
保 育 所 収 益	4,385,797	0.029	4,899,223	0.032	△ 513,426	89.5
沖 島 診 療 所 収 益	4,043,976	0.027	3,970,043	0.026	73,933	101.9
受 託 研 究 収 益	50,917,722	0.337	30,882,809	0.204	20,034,913	164.9
保 険 金	0	0.000	308,000	0.002	△ 308,000	皆減
他 会 計 負 担 金	613,098,000	4.057	622,916,000	4.117	△ 9,818,000	98.4
そ の 他 医 業 外 収 益	113,912,509	0.754	164,158,844	1.085	△ 50,246,335	69.4
計	15,111,408,852	100.00	15,131,990,328	100.00	△ 20,581,476	99.9

事業費に関する事項

区 分	令和 4 年 度	構 成 比	令和 3 年 度	構 成 比	対 前 年 度 比 較	
					増 減	伸 率
給 与 費	円 6,996,445,458	% 48.14	円 6,915,109,563	% 48.75	円 81,335,895	% 101.2
材 料 費	3,608,752,946	24.83	3,455,669,224	24.36	153,083,722	104.4
経 費	2,047,598,103	14.09	1,937,194,445	13.66	110,403,658	105.7
減 価 償 却 費	868,407,733	5.98	880,869,450	6.21	△ 12,461,717	98.6
資 産 減 耗 費	13,066,958	0.09	9,909,603	0.07	3,157,355	131.9
研 究 研 修 費	32,013,068	0.22	26,096,147	0.18	5,916,921	122.7
支払利息及び企業債取扱諸費	169,205,572	1.16	177,767,103	1.25	△ 8,561,531	95.2
長期前払消費税勘定償却	56,637,873	0.39	56,637,877	0.40	△ 4	100.0
看 護 師 養 成 費	36,600,000	0.25	22,200,000	0.16	14,400,000	164.9
保 育 所 費	32,796,720	0.23	36,403,995	0.26	△ 3,607,275	90.1
看 護 師 宿 舎 費	0	0.00	940,325	0.01	△ 940,325	皆減
沖島診療所運営費	8,257,223	0.06	8,694,762	0.06	△ 437,539	95.0
受 託 研 究 費	12,767,453	0.09	11,541,265	0.08	1,226,188	110.6
雑 損 失	1,142,567	0.01	1,257,504	0.01	△ 114,937	90.9
雑 支 出	649,201,269	4.47	563,089,765	3.97	86,111,504	115.3
特 別 損 失	0	0.00	82,212,416	0.58	△ 82,212,416	皆減
計	14,532,892,943	100.00	14,185,593,444	100.00	347,299,499	102.4

その他各種データ

手術件数表（令和4年度）

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位：件)

麻酔	科	外科	整形	産婦	脳外	耳鼻	泌尿	小外	心外	眼科	皮膚	形成	腎内	循環	その他	合計
全麻	麻酔科管理	561	511	241	67	188	84	148	82	6	8	70	0	1	0	1,967
	麻酔科非管理	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5
脊麻	麻酔科管理	0	24	83	0	0	2	0	0	0	5	3	0	0	0	117
	麻酔科非管理	25	222	48	0	0	254	0	2	0	0	6	0	0	0	557
硬麻	麻酔科管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麻酔科非管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝麻	麻酔科管理	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	麻酔科非管理	0	79	0	0	0	0	0	0	0	1	21	0	0	0	101
静麻	麻酔科管理	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	麻酔科非管理	3	2	32	0	1	0	0	31	0	1	1	0	14	0	85
局麻	麻酔科管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麻酔科非管理	36	111	0	55	16	26	0	54	719	153	219	48	56	6	1,499
その他	麻酔科管理	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	麻酔科非管理	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
合計	麻酔科管理	563	548	324	67	191	86	148	82	6	14	73	0	1	0	2,103
	麻酔科非管理	66	417	81	56	17	280	0	88	719	155	247	48	71	6	2,251
総計		629	965	405	123	208	366	148	170	725	169	320	48	72	6	4,354

感染症	
HBs	21
HCV	58
TP	20
RPR	35
HIV	0
MRSA	93
合計	227

一日平均手術数	
	17.9

稼働日：243日

時間内緊急手術		
全麻	麻酔科管理	117
	麻酔科非管理	3
脊麻	麻酔科管理	26
	麻酔科非管理	86
局麻	麻酔科管理	0
	麻酔科非管理	64
その他	麻酔科管理	1
	麻酔科非管理	21
合計	麻酔科管理	144
	麻酔科非管理	174

時間外緊急手術		
全麻	麻酔科管理	66
	麻酔科非管理	0
脊麻	麻酔科管理	6
	麻酔科非管理	15
局麻	麻酔科管理	0
	麻酔科非管理	16
その他	麻酔科管理	0
	麻酔科非管理	7
合計	麻酔科管理	72
	麻酔科非管理	38

休日緊急手術		
全麻	麻酔科管理	72
	麻酔科非管理	0
脊麻	麻酔科管理	10
	麻酔科非管理	12
局麻	麻酔科管理	0
	麻酔科非管理	12
その他	麻酔科管理	4
	麻酔科非管理	2
合計	麻酔科管理	86
	麻酔科非管理	26

令和 4 年度

救急発生状況

(東近江行政組合消防本部データから)

(単位：件)

月	近江八幡市		東近江市							日野町	竜王町	愛荘町		名神上	管外	合 計
	近江八幡市	安土町地区	八日市地区	永源寺地区	五箇荘地区	愛東地区	湖東地区	能登川地区	蒲生地区			秦荘	愛知川			
令和4年4月	248	41	173	19	41	17	30	65	35	80	45	20	28	4	1	847
令和4年5月	267	42	168	14	44	9	32	75	40	82	52	14	40	3	0	882
令和4年6月	302	34	174	13	55	12	33	66	31	85	62	32	44	1	0	944
令和4年7月	359	54	260	23	50	12	43	96	53	101	55	31	50	7	1	1,195
令和4年8月	368	65	224	24	53	20	43	94	55	106	58	42	66	11	0	1,229
令和4年9月	302	38	222	14	48	20	26	75	39	69	61	17	51	5	0	987
令和4年10月	318	58	186	7	39	17	33	85	44	103	43	31	56	5	0	1,025
令和4年11月	344	42	215	19	54	13	30	87	42	88	51	26	53	3	2	1,069
令和4年12月	382	53	231	17	77	18	41	115	67	101	61	34	58	4	0	1,259
令和5年1月	393	31	248	21	49	16	57	97	59	107	55	31	58	5	0	1,227
令和5年2月	274	24	177	16	44	12	40	79	38	81	43	23	35	0	0	886
令和5年3月	320	47	183	17	62	15	35	95	51	86	50	25	29	5	1	1,021
合計	3,877	529	2,461	204	616	181	443	1,029	554	1,089	636	326	568	53	5	12,571

搬送状況

月	救急件数	当院搬送	管内合計	管内収容率	管外合計
令和4年4月	847	415	705	89.7%	81
令和4年5月	882	427	728	89.9%	82
令和4年6月	944	461	793	89.2%	96
令和4年7月	1,195	530	974	88.3%	129
令和4年8月	1,229	547	943	87.2%	138
令和4年9月	987	499	804	88.7%	102
令和4年10月	1,025	487	842	87.8%	117
令和4年11月	1,069	457	840	85.8%	139
令和4年12月	1,259	578	970	86.1%	157
令和5年1月	1,227	544	920	85.5%	156
令和5年2月	886	412	717	87.9%	99
令和5年3月	1,021	514	856	90.3%	92
合 計	12,571	5,871	10,092	87.9%	1,388

病院事業経営分析指標

	令和4年度	参考:R3年度	比較	備 考
固定負債構成比率	50.9 %	53.6 %	-2.7	固定負債/負債資本合計×100 総資本に対する固定負債の率。比率が低いほど良好。
自己資本構成比率	37.7 %	34.4 %	3.3	(資本金＋剰余金＋繰延収益)/負債資本合計×100 総資本に対する自己資本の率。 比率が高いほど経営の安定性が高い。
流動資産対固定資産比率	64.8 %	66.0 %	-1.2	流動資産/固定資産×100 固定資産に対する流動資産の率。 比率が高いほど良好。
固定資産対長期資本比率	68.5 %	68.5 %	0.0	固定資産/(資本合計＋固定負債＋繰延収益)×100 自己資本が、いくら運転資本を供給しつつあるかを表したもの。標準比率は100%以下で低いほど良好。
固定比率	161.1 %	175.1 %	-14.0	固定資産/(資本金＋剰余金＋繰延収益)×100 固定資産を自己資本でまかなっている割合。 比率が低いほど良好。
流動比率	342.4 %	330.6 %	11.8	流動資産/流動負債×100 企業の支払い能力を表す。 標準比率は200%以上で高いほど良好。
当座比率	340.4 %	321.6 %	18.8	(現金預金＋未収金－貸倒引当金)/流動負債×100 流動比率より一層厳密にしたもので、即時支払能力を表す。標準比率は100%以上で高いほど良好。
現金比率	214.7 %	190.3 %	24.4	現金預金/流動負債×100 流動負債に対する現金預金の割合。 比率は20%以上が良いとされ、高いほど良好。
未収比率	14.5 %	15.8 %	-1.3	未収金/資産合計×100 総資産に対する未収金の率。比率が低いほど良好。
資産負債比率	154.1 %	146.5 %	7.6	資産合計/負債合計×100 負債に対する資産の率。 標準比率は100%以上で高いほど良好。
資本負債比率	54.1 %	46.5 %	7.6	(自己資本金＋剰余金)/負債合計×100 負債に対する資本の率。比率が高いほど良好。
未収金回転率	4.0 回	3.9 回	0.1	医業収益/(未収金(期首＋期末)/2) 率が低いほど未収金の性質を劣悪にし、高いほど良好。
流動資産回転率	1.5 回	1.4 回	0.1	医業収益/(流動資産(期首＋期末)/2) 流動資産の使用・利用度を表す。率が高いほど流動資産が効率的に売上に結び付いていることを示す。
貯蔵品回転率	31.8 回	27.1 回	4.7	(貯蔵品(期首＋当期購入額－期末))/(貯蔵品(期首＋期末)/2) 率が高いほどこれに対する投下資本が少なくてすむ。
総収支比率	104.0 %	106.7 %	-2.7	総収入/総費用×100 企業の全活動の能率を表す。比率が高いほど良好。
医業収益対医業費用比率	100.0 %	94.6 %	5.4	医業収益/医業費用×100 営業活動の能率効果測定を判断されるもので、経営の良否がうかがえる。比率が高いほど良好。
利益効率	3.8 %	6.3 %	-2.5	純利益/総収入×100 総収入に対する利益の測定。比率が高いほど良好。
経常収支比率	104.0 %	107.3 %	-3.3	経常収益/経常費用×100 経常的な収益と費用の関連を表す。 比率が高いほど良好。
企業債元利償還金 対料金収入比率	9.4 %	10.5 %	-1.1	企業債元利償還金/料金収入×100 企業債元利償還金と料金収入の関連を表す。 比率が低いほど良好。
他会計繰入金 対医業収益との比率	4.5 %	7.4 %	-2.9	収益的収支への他会計繰入金/医業収益×100 収益的収支への他会計繰入金と医業収益の関連を表す。比率が低いほど堅実。

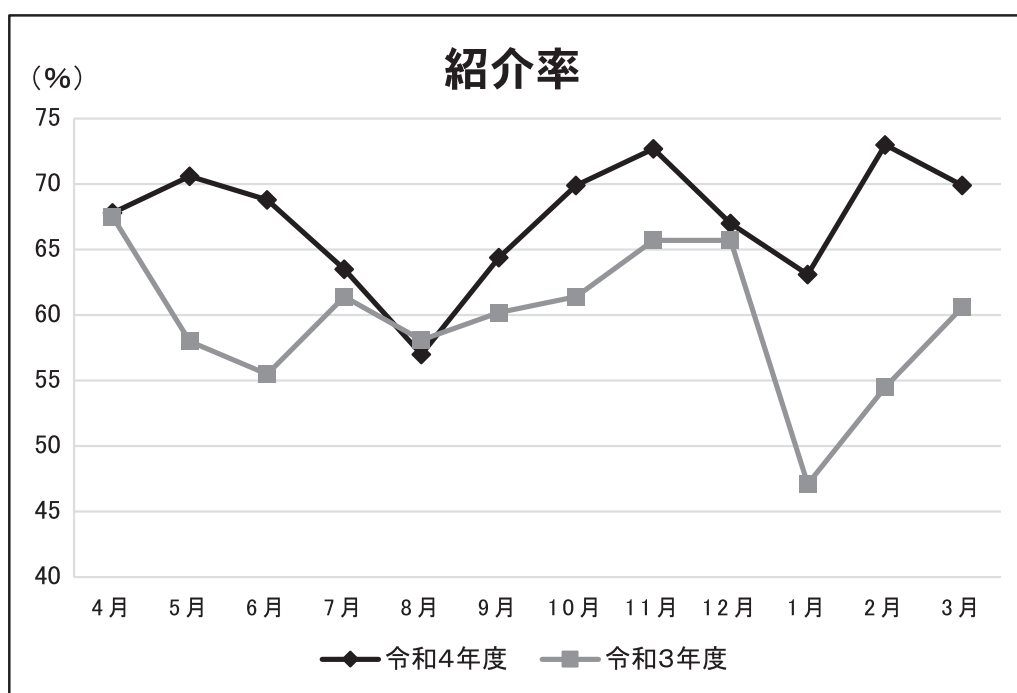
紹介率

◇ 紹介率算出式

$$\frac{\text{初診紹介患者数}}{\text{初診患者数} - \text{初診時間外外来患者数}} \times 100$$

◇ 紹介率実績推移

	初診患者数	初診紹介患者数	初診時間外外来患者数	紹介率
令和4年4月	1,292 人	672 人	301 人	67.8%
令和4年5月	1,468 人	755 人	398 人	70.6%
令和4年6月	1,604 人	830 人	397 人	68.8%
令和4年7月	1,573 人	716 人	445 人	63.5%
令和4年8月	1,625 人	693 人	409 人	57.0%
令和4年9月	1,425 人	681 人	367 人	64.4%
令和4年10月	1,416 人	759 人	330 人	69.9%
令和4年11月	1,424 人	793 人	333 人	72.7%
令和4年12月	1,370 人	696 人	331 人	67.0%
令和5年1月	1,333 人	609 人	368 人	63.1%
令和5年2月	1,194 人	683 人	259 人	73.0%
令和5年3月	1,329 人	714 人	307 人	69.9%
年度計	17,053 人	8,601 人	4,245 人	67.2%



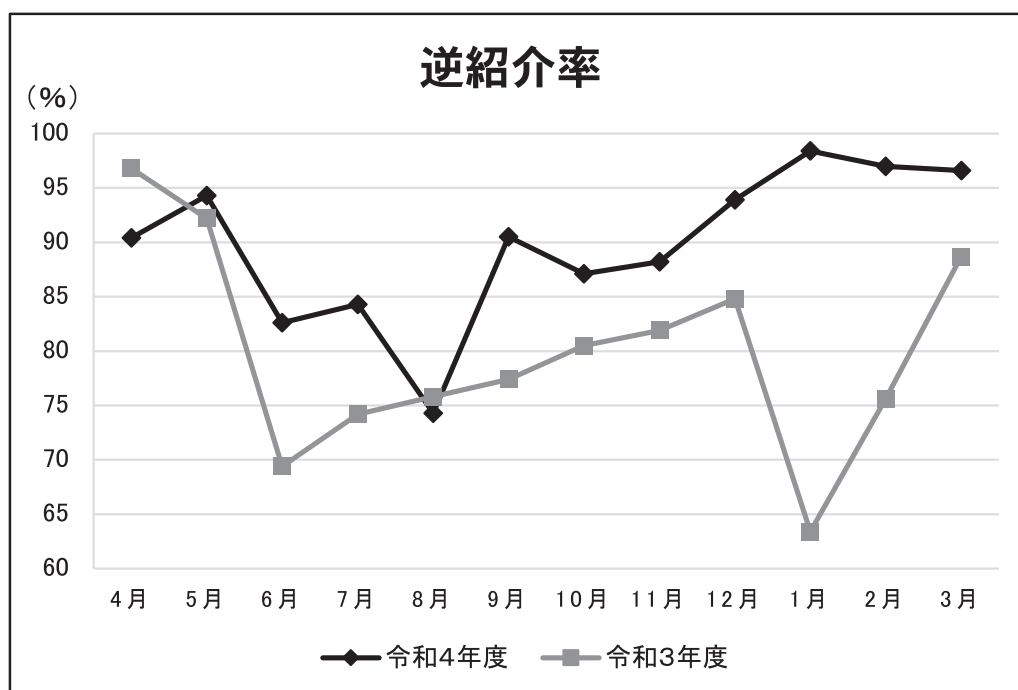
逆紹介率

◇ 逆紹介率算出式

$$\frac{\text{診療情報提供料}}{\text{初診患者数} - \text{初診時間外外来患者数}} \times 100$$

◇ 逆紹介率実績推移

	初診患者数	初診時間外 外来患者数	診療情報 提供料	逆紹介率
令和4年4月	1,292 人	301 人	896 件	90.4%
令和4年5月	1,468 人	398 人	1,009 件	94.3%
令和4年6月	1,604 人	397 人	997 件	82.6%
令和4年7月	1,573 人	445 人	951 件	84.3%
令和4年8月	1,625 人	409 人	903 件	74.3%
令和4年9月	1,425 人	367 人	957 件	90.5%
令和4年10月	1,416 人	330 人	946 件	87.1%
令和4年11月	1,424 人	333 人	962 件	88.2%
令和4年12月	1,370 人	331 人	976 件	93.9%
令和5年1月	1,333 人	368 人	950 件	98.4%
令和5年2月	1,194 人	259 人	907 件	97.0%
令和5年3月	1,329 人	307 人	987 件	96.6%
年度計	17,053 人	4,245 人	11,441 件	89.3%



5 入院病歴統計

令和 4 年度（2022年 4 月～2023年 3 月）

1. 退院患者数(科別・性別)

(単位:人)

科 名	男	女	総 数	科別入院率(%)
総 合 内 科	159	186	345	3.6%
外 科	517	383	900	9.3%
整 形 外 科	362	497	859	8.9%
脳 神 経 外 科	211	131	342	3.5%
小 児 科	546	470	1016	10.5%
産 婦 人 科	0	826	826	8.5%
皮 膚 科	41	79	120	1.2%
泌 尿 器 科	397	143	540	5.6%
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	114	97	211	2.2%
眼 科	143	175	318	3.3%
脳 神 経 内 科	73	60	133	1.4%
循 環 器 内 科	741	436	1177	12.2%
消 化 器 内 科	924	530	1454	15.0%
小 児 外 科	97	96	193	2.0%
代謝・内分泌内科	111	105	216	2.2%
腎 臓 内 科	329	245	574	5.9%
血 液 内 科	119	92	211	2.2%
心 臓 血 管 外 科	94	50	144	1.5%
形 成 外 科	75	33	108	1.1%
総 数	5053	4634	9687	100%

2. 退院患者数(科別・月別)

(単位:人)

科 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総 合 内 科	30	32	38	27	32	25
外 科	64	64	79	74	83	80
整 形 外 科	80	65	66	83	52	68
脳 神 経 外 科	32	28	30	16	30	24
小 児 科	67	75	82	103	123	81
産 婦 人 科	58	71	74	76	74	80
皮 膚 科	3	6	11	13	17	11
泌 尿 器 科	44	47	43	55	48	44
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	17	18	15	21	16	22
眼 科	27	29	33	25	25	24
脳 神 経 内 科	14	11	10	13	6	13
循 環 器 内 科	107	115	93	94	75	92
消 化 器 内 科	141	114	98	116	128	114
小 児 外 科	12	16	19	20	17	19
代謝・内分泌内科	11	19	20	12	30	15
腎 臓 内 科	55	43	57	49	60	40
血 液 内 科	18	14	20	23	15	18
心 臓 血 管 外 科	7	11	14	8	16	7
形 成 外 科	12	7	7	11	8	7
総 数	799	785	809	839	855	784

(単位:人)

科 名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総 数
総 合 内 科	29	27	19	31	24	31	345
外 科	79	78	71	65	75	88	900
整 形 外 科	64	75	70	61	92	83	859
脳 神 経 外 科	29	24	34	22	39	34	342
小 児 科	79	85	87	78	64	92	1016
産 婦 人 科	58	59	64	74	71	67	826
皮 膚 科	11	9	9	8	6	16	120
泌 尿 器 科	43	42	49	45	38	42	540
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	21	11	18	14	17	21	211
眼 科	22	33	25	17	28	30	318
脳 神 経 内 科	6	11	18	6	10	15	133
循 環 器 内 科	96	109	102	80	95	119	1177
消 化 器 内 科	116	116	134	125	115	137	1454
小 児 外 科	19	21	12	14	8	16	193
代謝・内分泌内科	15	15	20	19	17	23	216
腎 臓 内 科	40	38	53	46	38	55	574
血 液 内 科	21	13	18	13	17	21	211
心 臓 血 管 外 科	19	13	13	6	13	17	144
形 成 外 科	5	10	9	7	10	15	108
総 数	772	789	825	731	777	922	9687

3. 退院患者数(病棟別)

(単位:人)

病 棟	救命救急	集中治療室	3N	3E	NICU	3S	3W
総 合 内 科	13	4	17	3	0	58	29
外 科	11	3	100	14	0	29	10
整 形 外 科	7	0	24	65	0	246	477
脳 神 経 外 科	19	1	6	7	0	83	13
小 児 科	1	0	8	881	81	0	0
産 婦 人 科	0	0	819	1	0	0	0
皮 膚 科	0	0	13	5	0	35	54
泌 尿 器 科	2	1	7	10	0	112	13
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	0	0	19	41	0	4	10
眼 科	0	0	25	7	0	256	0
脳 神 経 内 科	10	0	4	3	0	44	2
循 環 器 内 科	22	19	12	7	0	47	11
消 化 器 内 科	12	0	85	48	0	327	20
小 児 外 科	0	0	0	193	0	0	0
代謝・内分泌内科	8	0	10	3	0	23	104
腎 臓 内 科	14	1	13	6	0	382	21
血 液 内 科	4	0	4	0	0	20	1
心 臓 血 管 外 科	0	5	2	7	0	3	2
形 成 外 科	1	0	2	19	0	9	57
総 数	124	34	1170	1320	81	1678	824

(単位:人)

病 棟	4N	4E	4S	4W	5C	総 数
総 合 内 科	91	40	29	56	5	345
外 科	15	676	34	4	4	900
整 形 外 科	12	5	13	7	3	859
脳 神 経 外 科	4	2	198	5	4	342
小 児 科	45	0	0	0	0	1016
産 婦 人 科	5	0	1	0	0	826
皮 膚 科	3	3	5	2	0	120
泌 尿 器 科	56	18	297	24	0	540
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	100	6	26	3	2	211
眼 科	1	0	29	0	0	318
脳 神 経 内 科	2	0	65	3	0	133
循 環 器 内 科	30	10	12	996	11	1177
消 化 器 内 科	60	803	57	40	2	1454
小 児 外 科	0	0	0	0	0	193
代謝・内分泌内科	23	14	6	24	1	216
腎 臓 内 科	43	29	20	42	3	574
血 液 内 科	6	4	154	16	2	211
心 臓 血 管 外 科	0	0	2	122	1	144
形 成 外 科	11	1	6	2	0	108
総 数	507	1611	954	1346	38	9687

4. 平均在院日数(科別) (単位:日)

科 名	入院日数の平均
総 合 内 科	15.8
外 科	8.8
整 形 外 科	21.8
脳 神 経 外 科	19.7
小 児 科	8.0
産 婦 人 科	10.9
皮 膚 科	16.2
泌 尿 器 科	8.4
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	5.7
眼 科	3.4
脳 神 経 内 科	19.3
循 環 器 内 科	11.8
消 化 器 内 科	10.8
小 児 外 科	5.9
代謝・内分泌内科	12.8
腎 臓 内 科	15.5
血 液 内 科	31.1
心 臓 血 管 外 科	17.3
形 成 外 科	18.7
全 体	12.5

5. 入院経路(科別)

(単位:人)

科 名	外来 (紹介有)	外来 (紹介無)	救急 (紹介有)	救急 (紹介無)	その他 院内出生	総 数
総 合 内 科	21	18	140	166	0	345
外 科	531	120	119	130	0	900
整 形 外 科	407	88	122	242	0	859
脳 神 経 外 科	44	23	67	208	0	342
小 児 科	161	135	198	288	234	1016
産 婦 人 科	546	139	108	33	0	826
皮 膚 科	54	18	27	21	0	120
泌 尿 器 科	323	128	47	42	0	540
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	182	11	9	9	0	211
眼 科	250	68	0	0	0	318
脳 神 経 内 科	18	10	38	67	0	133
循 環 器 内 科	507	251	198	221	0	1177
消 化 器 内 科	658	315	256	225	0	1454
小 児 外 科	111	25	34	23	0	193
代謝・内分泌内科	62	19	60	75	0	216
腎 臓 内 科	230	101	102	141	0	574
血 液 内 科	94	42	34	41	0	211
心 臓 血 管 外 科	105	21	7	11	0	144
形 成 外 科	65	24	5	14	0	108
全 体	4369	1556	1571	1957	234	9687
率(%)	45.1%	16.1%	16.2%	20.2%	2.4%	100%

6. 転帰(科別)

(単位:人)

科 名	治癒	軽快	不変	増悪	死亡	検査終了	総 数
総 合 内 科	1	304	8	0	32	0	345
外 科	1	846	33	0	20	0	900
整 形 外 科	0	839	11	0	5	4	859
脳 神 経 外 科	0	294	4	0	29	15	342
小 児 科	19	877	31	1	2	86	1016
産 婦 人 科	0	783	34	1	6	2	826
皮 膚 科	1	110	1	0	5	3	120
泌 尿 器 科	0	470	36	0	10	24	540
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1	205	3	0	2	0	211
眼 科	0	316	2	0	0	0	318
脳 神 経 内 科	0	107	14	3	7	2	133
循 環 器 内 科	1	871	30	0	56	219	1177
消 化 器 内 科	6	1249	115	0	61	23	1454
小 児 外 科	0	178	14	0	0	1	193
代謝・内分泌内科	1	186	15	0	8	6	216
腎 臓 内 科	1	407	80	0	40	46	574
血 液 内 科	0	169	10	0	31	1	211
心 臓 血 管 外 科	0	131	5	1	7	0	144
形 成 外 科	0	106	1	0	1	0	108
全 体	32	8448	447	6	322	432	9687
率(%)	0.3%	87.2%	4.6%	0.1%	3.3%	4.5%	100%

7. 退院後のフォローアップ(科別)

(単位:人)

科 名	外来当院	外来他院	転院	終了 (死亡含む)	その他 施設等	総 数
総 合 内 科	30	179	50	34	52	345
外 科	275	573	24	21	7	900
整 形 外 科	179	410	243	5	22	859
脳 神 経 外 科	64	148	95	29	6	342
小 児 科	686	284	7	39	0	1016
産 婦 人 科	636	178	6	6	0	826
皮 膚 科	37	51	9	6	17	120
泌 尿 器 科	125	374	21	10	10	540
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	68	137	1	4	1	211
眼 科	83	234	0	0	1	318
脳 神 経 内 科	18	45	49	7	14	133
循 環 器 内 科	262	752	62	59	42	1177
消 化 器 内 科	329	961	58	65	41	1454
小 児 外 科	137	51	5	0	0	193
代謝・内分泌内科	30	137	22	11	16	216
腎 臓 内 科	150	313	42	41	28	574
血 液 内 科	59	93	20	31	8	211
心 臓 血 管 外 科	35	94	6	7	2	144
形 成 外 科	66	39	0	1	2	108
全 体	3269	5053	720	376	269	9687
率 (%)	33.7%	52.2%	7.4%	3.9%	2.8%	100%

8. 退院患者数 ICD10大分類(性別)

(単位:人)

ICD10大分類病名	男	女	総 計	率 (%)
1. 感染症, 寄生虫症	100	85	185	1.9%
2. 新生物	880	747	1627	16.8%
3. 血液, 免疫障害など	26	34	60	0.6%
4. 内分泌, 代謝など	115	133	248	2.6%
5. 精神障害など	12	4	16	0.2%
6. 神経系	127	54	181	1.9%
7. 眼科関連	157	178	335	3.5%
8. 耳および乳様突起の疾患	18	30	48	0.5%
9. 循環器系	911	573	1484	15.3%
10. 呼吸器系	404	288	692	7.1%
11. 消化器系	857	555	1412	14.6%
12. 皮膚科関連	53	65	118	1.2%
13. 筋骨格関連	146	166	312	3.2%
14. 尿路性器系	416	397	813	8.4%
15. 妊娠, 分娩関連	0	471	471	4.9%
16. 周産期関連	141	125	266	2.7%
17. 先天奇形, 染色体異常など	42	59	101	1.0%
18. 他に分類されないもの	84	63	147	1.5%
19. 損傷, 中毒など	474	503	977	10.1%
21. 保健サービスの利用など	0	3	3	0.03%
22. COVID	90	101	191	2.0%
総 数	5053	4634	9687	100%

9. ICD大分類別入院患者平均在院日数

(単位:日)

ICD10大分類病名	入院日数の平均
1. 感染症, 寄生虫症	11.3
2. 新生物	10.9
3. 血液, 免疫障害など	26.4
4. 内分泌, 代謝など	10.3
5. 精神障害など	7.9
6. 神経系	12.6
7. 眼科関連	3.3
8. 耳および乳様突起の疾患	4.9
9. 循環器系	13.5
10. 呼吸器系	14.6
11. 消化器系	9.2
12. 皮膚科関連	22.2
13. 筋骨格関連	21.8
14. 尿路性器系	10.2
15. 妊娠, 分娩関連	12.9
16. 周産期関連	15.9
17. 先天奇形, 染色体異常など	11.8
18. 他に分類されないもの	8.8
19. 損傷, 中毒など	17.4
21. 保健サービスの利用など	2.0
22. COVID	12.5

10. 死亡退院患者数(科別・性別・病棟別)

(単位:人)

科 名	男	女	総 数
総 合 内 科	15	17	32
外 科	11	9	20
整 形 外 科	3	2	5
脳 神 経 外 科	15	14	29
小 児 科	2	0	2
産 婦 人 科	0	6	6
皮 膚 科	2	3	5
泌 尿 器 科	7	3	10
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1	1	2
眼 科	0	0	0
脳 神 経 内 科	4	3	7
循 環 器 内 科	33	23	56
消 化 器 内 科	43	18	61
小 児 外 科	0	0	0
代謝・内分泌内科	5	3	8
腎 臓 内 科	24	16	40
血 液 内 科	23	8	31
心 臓 血 管 外 科	5	2	7
形 成 外 科	1	0	1
総 数	194	128	322

病棟	男	女	総 数
救命救急	21	12	33
集中治療室	23	7	30
3 N	1	12	13
3 E	0	0	0
NICU	2	0	2
3 S	19	11	30
3 W	8	8	16
4 N	10	12	22
4 E	45	23	68
4 S	28	18	46
4 W	23	17	40
5 C	14	8	22
総 数	194	128	322

11. 死亡退院患者数 ICD10大分類(性別)

(単位:人)

ICD10大分類病名	男	女	総 数	疾患別死亡率
1. 感染症, 寄生虫症	6	3	9	2.8%
2. 新生物	49	34	83	25.8%
3. 血液, 免疫障害など	3	2	5	1.6%
4. 内分泌, 代謝など	3	5	8	2.5%
5. 精神障害など	0	0	0	－
6. 神経系	8	0	8	2.5%
7. 眼科関連	0	0	0	－
8. 耳および乳様突起の疾患	0	0	0	－
9. 循環器系	45	35	80	24.8%
10. 呼吸器系	38	18	56	17.4%
11. 消化器系	16	8	24	7.5%
12. 皮膚科関連	2	2	4	1.2%
13. 筋骨格, 結合組織関連	3	1	4	1.2%
14. 尿路性器系	8	3	11	3.4%
15. 妊娠, 分娩関連	0	0	0	－
16. 周産期関連	0	0	0	－
17. 先天奇形, 染色体異常など	1	0	1	0.3%
18. 他に分類されないもの	1	5	6	1.9%
19. 損傷, 中毒など	7	9	16	5.0%
21. 保健サービスの利用など	0	0	0	－
22. COVID	4	3	7	2.2%
総 数	194	128	322	100%

12. 入院病名下位分類(ICD10大分類別)

(単位:人)

1. 感染症, 寄生虫症	
腸管感染症	66
敗血症	16
菌血症	44
带状疱疹	4
計	185

2. 新生物	
舌, 咽頭, 喉頭	5
食道	15
胃	162
結腸	185
直腸	105
肝, 肝内胆管	31
胆嚢	7
総胆管など	35
膵	61
気管支, 肺	4
乳房	58
子宮(頸, 体)	40
卵巣	56
前立腺	53
腎, 尿管	78
膀胱	115
甲状腺	10
リンパ腫など	61
血液など	47
悪性その他	57
悪性 計	1185
大腸腺腫	171
骨髄異形成症候群	27
子宮筋腫	61
卵巣腫瘍	69
良性その他	114
良性 計	442
計	1627

3. 血液, 免疫障害など	
貧血	31
紫斑病・IgA 血管炎	14
計	60

4. 内分泌, 代謝など	
糖尿病	86
脱水症	50
甲状腺疾患	7
計	248

5. 精神障害など	
アルコール中毒	4
計	16

6. 神経系	
てんかん, けいれん	75
睡眠時無呼吸症候群	10
パーキンソン病	12
髄膜炎	4
計	181

7. 眼科関連	
白内障	304
計	335

8. 耳および乳様突起の疾患	
めまい症・メニエル病	17
中耳炎	19
計	48

9. 循環器系	
狭心症	381
心不全	228
静脈, リンパ管系疾患	78
閉塞性動脈硬化症	166
急性心筋梗塞	73
大動脈弁障害	23
動脈瘤・解離	64
陳旧性心筋梗塞・心筋虚血	25
高血圧性心腎疾患	5
脳梗塞, 脳塞栓	201
脳出血(外傷性は除く)	62
くも膜下出血(外傷性は除く)	19
計	1484

10. 呼吸器系	
肺炎	166
誤嚥性肺炎	149
副鼻腔炎	42
間質性肺炎	26
気管支炎	97
気管支喘息	57
気胸	9
COPD	26
咽喉頭炎, 上気道炎	16
計	692

(単位:人)

11. 消化器系	
胆管炎、胆管閉塞	241
鼠径ヘルニア	143
大腸ポリープ	201
胆石症、胆嚢炎	74
腸閉塞	103
急性虫垂炎	87
肝疾患	91
憩室炎・憩室出血	78
膵炎	25
胃・十二指腸潰瘍	30
虚血性腸炎	14
クローン病・潰瘍性大腸炎	8
計	1412

12. 皮膚科関連	
蜂窩織炎	51
褥瘡	10
計	118

13. 筋骨格関連	
変形性膝関節症	37
変形性股関節症	28
脊柱管狭窄症	36
川崎病	27
椎間板ヘルニア	31
頸椎症性脊髄症	11
関節リウマチ	7
計	312

14. 尿路性器系	
腎不全	123
腎盂腎炎	135
尿路結石	134
腎炎・ネフローゼ	43
尿路感染症	37
女性性器疾患(非炎症性)	88
男性性器疾患	39
前立腺肥大	29
女性性器疾患(炎症性)	4
計	813

15. 妊娠、分娩関連	
切迫早産	51
流産	20
前期破水	16
妊娠高血圧症候群	21
子宮外妊娠	4
計	471

16. 周産期関連	
新生児一過性多呼吸	57
早産児、低出生体重児	61
新生児黄疸	16
計	266

17. 先天奇形、染色体異常など	
消化器系の先天奇形	28
性器の先天奇形	9
循環器系の先天奇形	9
眼、耳、顔面の先天奇形	12
計	101

18. 他に分類されないもの	
熱性けいれん	69
嘔吐症	4
計	147

19. 損傷、中毒など	
大腿骨骨折	206
シャント不全	14
頭部損傷	110
下腿の損傷	101
肩および上腕骨の損傷	85
アレルギー・アナフィラキシー	81
腹部、腰椎の損傷	45
薬物中毒	20
頸部損傷	12
計	977

22. 特殊コード	
COVID	191
計	191

13. 主要入院疾患名(診療科別)

(単位:人)

総合内科	
肺炎・気管支炎、誤嚥性肺炎	96
急性腎盂腎炎	32
COVID	20
菌血症	12
薬物中毒	8
計	345

消化器内科	
大腸腺腫・大腸ポリープ	367
総胆管結石・胆管炎	221
胃癌	109
大腸癌	78
膵癌	56
肝硬変	51
膵炎	32
胆嚢・総胆管癌	31
肝細胞癌	29
消化管出血	23
胃・十二指腸潰瘍	20
腸閉塞	12
胆石症・胆嚢炎	11
肝炎	10
虚血性腸炎	9
直腸癌	3
計	1454

循環器内科	
狭心症	367
心不全	206
閉塞性動脈硬化症	85
急性心筋梗塞	73
心房細動	49
肺炎、誤嚥性肺炎	44
陳旧性心筋梗塞・心筋虚血	25
房室ブロック	22
計	1177

代謝・内分泌内科	
糖尿病	78
肺炎	29
計	216

腎臓内科	
慢性腎不全	100
肺炎	68
慢性腎炎・ネフローゼ症候群	38
シャント機能低下	14
計	574

血液内科	
リンパ腫	49
急性白血病	25
多発性骨髄腫	22
骨髄異形成症候群	20
計	211

外科	
胆石・総胆管結石	127
直腸癌	102
大腸癌	98
鼠径ヘルニア	96
腸閉塞	80
乳癌	56
虫垂炎	55
胃癌	53
気胸	14
計	900

小児外科	
鼠径ヘルニア	48
虫垂炎	31
腸閉塞	20
計	193

整形外科	
大腿骨骨折	203
橈骨、尺骨骨折	87
下腿の骨折	84
上腕骨、鎖骨骨折	52
変形性膝関節症	37
変形性股関節症	28
胸腰椎骨折	27
膝の損傷	20
計	859

(単位:人)

脳神経外科	
脳梗塞(含, 脳幹, 小脳)	98
脳出血(含, 小脳)(外傷性含む)	65
慢性硬膜下血腫(外傷性含む)	61
くも膜下出血(外傷性含む)	36
新生物	11
脳挫傷	9
計	342

小児科	
新生児疾患	259
気管支炎, 肺炎	120
食物アレルギー	72
熱性けいれん	63
胃腸炎	58
てんかん	48
気管支喘息	41
内分泌疾患	32
川崎病	29
尿路感染症	28
計	1016

産婦人科	
自然分娩	131
卵巣腫瘍・卵巣嚢腫	80
子宮筋腫	62
卵巣癌	56
切迫早産	51
子宮体癌・子宮頸癌	37
子宮頸部異形成	20
吸引分娩	20
前置胎盤	19
前期破水	16
子宮脱	13
人工妊娠中絶	8
切迫流産	6
計	826

皮膚科	
蜂窩織炎	33
皮膚癌	16
帯状疱疹	5
計	120

泌尿器科	
腎尿管結石	128
膀胱癌	115
腎癌、腎盂腎癌	52
前立腺癌	52
腎盂腎炎	49
前立腺肥大症	29
膀胱結石	5
計	540

耳鼻咽喉科・頭頸部外科	
副鼻腔炎	62
咽頭, 扁桃炎	22
中耳炎	17
眩暈症、メニエル病	11
甲状腺癌	9
舌・喉頭癌	4
計	211

眼科	
白内障	303
計	318

脳神経内科	
脳梗塞(含, 脳幹, 小脳)	67
てんかん	23
パーキンソン病	9
計	133

心臓血管外科	
静脈瘤	54
動脈瘤	41
狭心症	12
大動脈弁狭窄・閉鎖不全症	8
計	144

形成外科	
外傷・熱傷	34
新生物	24
計	108

14. 主要処置、手術件数(ICD9CM分類別)

(単位:人)

1. 神経系の手術	
01-02 頭蓋骨, 脳, 硬膜 その他	85
03 脊髄, 脊柱管構造	11
04 脳神経, 末梢神経	52

2. 内分泌の手術	
06 甲状腺, 副甲状腺	25

3. 眼の手術	
13 水晶体	455

4. 耳の手術	
19-20 中耳, 内耳 その他	41

5. 鼻, 口, 咽頭の手術	
21 鼻	51
22 副鼻腔	46
26 唾液腺, 唾液腺管	6
28 扁桃, アデノイド	25

6. 呼吸器系の手術	
30-31 喉頭	35

7. 心血管系の手術	
35 弁および中隔	37
36 心血管	319
37 心, 心膜 その他	194
38 血管	75
39 血管 その他	261

8. 血液系, リンパ系の手術	
40 リンパ系	9

9. 消化器系の手術	
42 食道	2
43-44 胃 その他	162
45-46 腸 その他	606
47 虫垂	46
48 直腸, S状結腸, 直腸周囲組織	42
49 肛門	11
50 肝	11
51 胆嚢, 胆道	491
52 膵	23
53 ヘルニア	185
54 腹部 その他	61

11. 尿路系の手術	
55 腎	26
56 尿管	108
57 膀胱	111
58 尿道	12
59 尿路系 その他	57

11. 男性性器の手術	
60 前立腺, 精嚢	32
62 精巣の手術	13
64 陰茎の手術	5

12. 女性性器の手術	
65 卵巣	98
66 卵管	16
67 子宮頸	24
68 子宮 その他	126
69 子宮, 支持構造部 その他	35
70 膣およびダグラス窩の手術	13

13. 産科的処置	
74 帝王切開術, 胎児の摘出	134

14. 筋骨格系の手術	
77 その他の骨手術	52
78 顔面骨を除く骨 その他	99
79 骨折, 脱臼	361
80 関節構造の切開, 切除	18
81 関節構造の修復, 形成	332
82 手の筋, 腱, 筋膜	19
83 手以外の筋, 腱, 筋膜, 滑液包	20
84 筋骨格系 その他	14

15. 外皮組織の手術	
85 乳房	49
86 皮膚, 皮下組織	330

16. 多方面の診断的治療的処置	
87-99 多方面の診断的治療的処置	452

近江八幡市立総合医療センター年報
令和4年度（2022年度）
令和6年2月発行

発行所 近江八幡市立総合医療センター

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町1379

TEL (0748) 33-3151(代)

FAX (0748) 33-4877

<https://www.kenkou1.com/>